

---

## 2017年度(2018年3月期) 決算説明会

株式会社ダイヘン

2018. 6. 5



P1

---

## 2017年度 (2017年4月～2018年3月) 【 実 績 】



P2

## 業績サマリー①

(単位：億円)

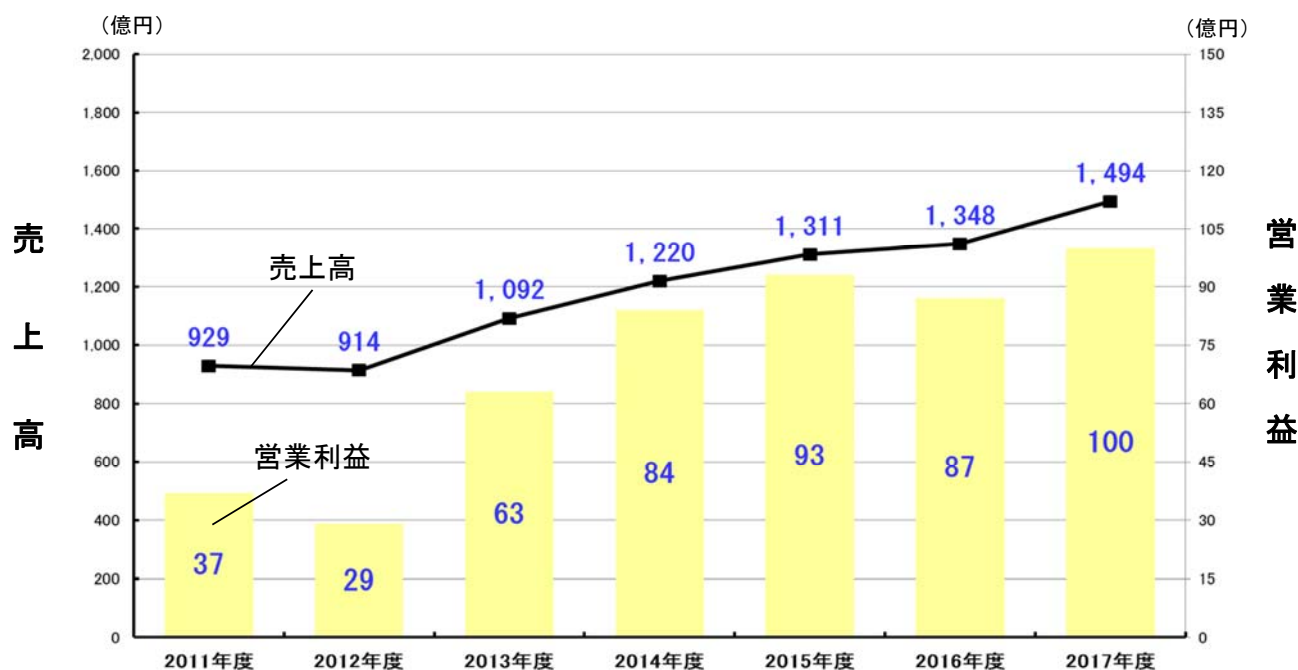
	2016年度	2017年度		前年度比 ③-①	予想比 ③-②
	実績 ①	期初予想 ②	実績 ③		
売上高	1,348	1,450	1,494	+146	+44
1 電力機器	667	660	661	-6	+1
2 溶接メカトロ	422	450	444	+22	-6
3 半導体関連機器	257	340	386	+129	+46
営業利益	6.5% 87	6.9% 100	6.7% 100	+13	±0
経常利益	6.6% 88	6.9% 100	6.9% 102	+14	+2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4.6% 62	4.8% 70	4.6% 68	+6	-2

DAIHEN

P3

## 業績サマリー②

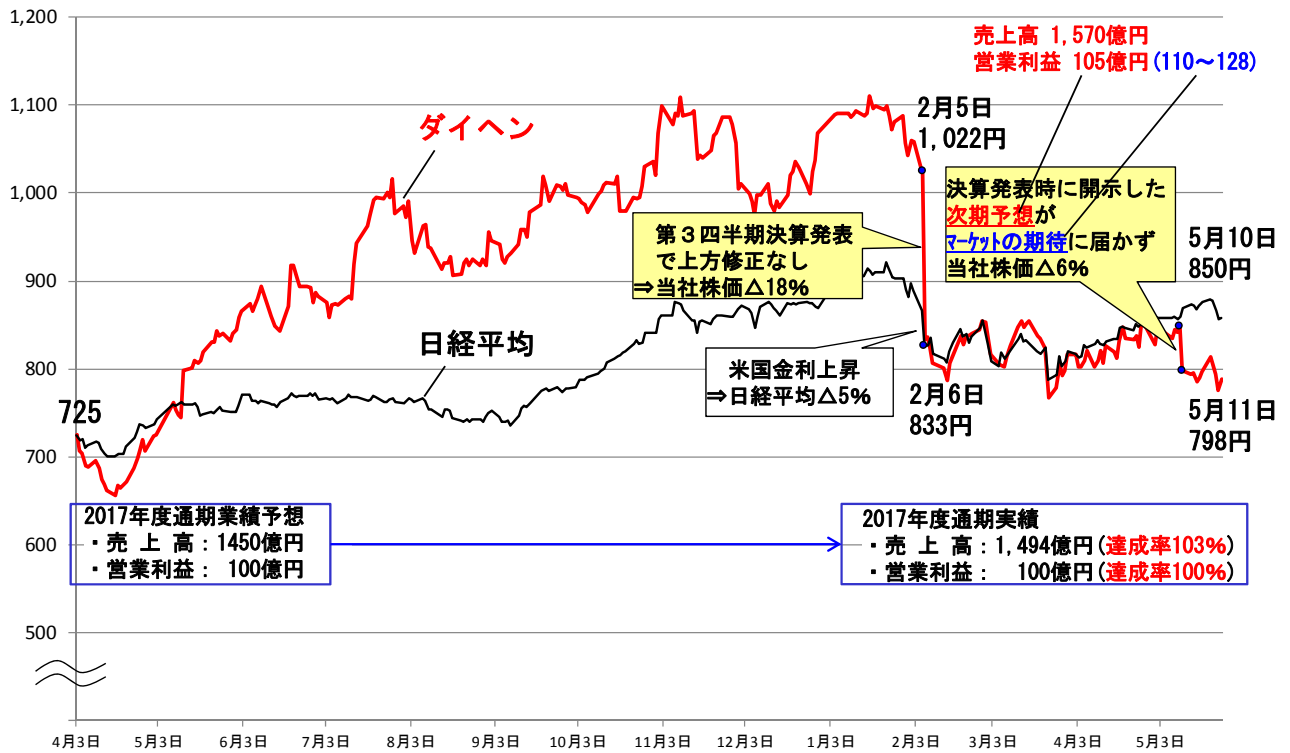
5年連続増収、売上高・営業利益ともに過去最高を更新



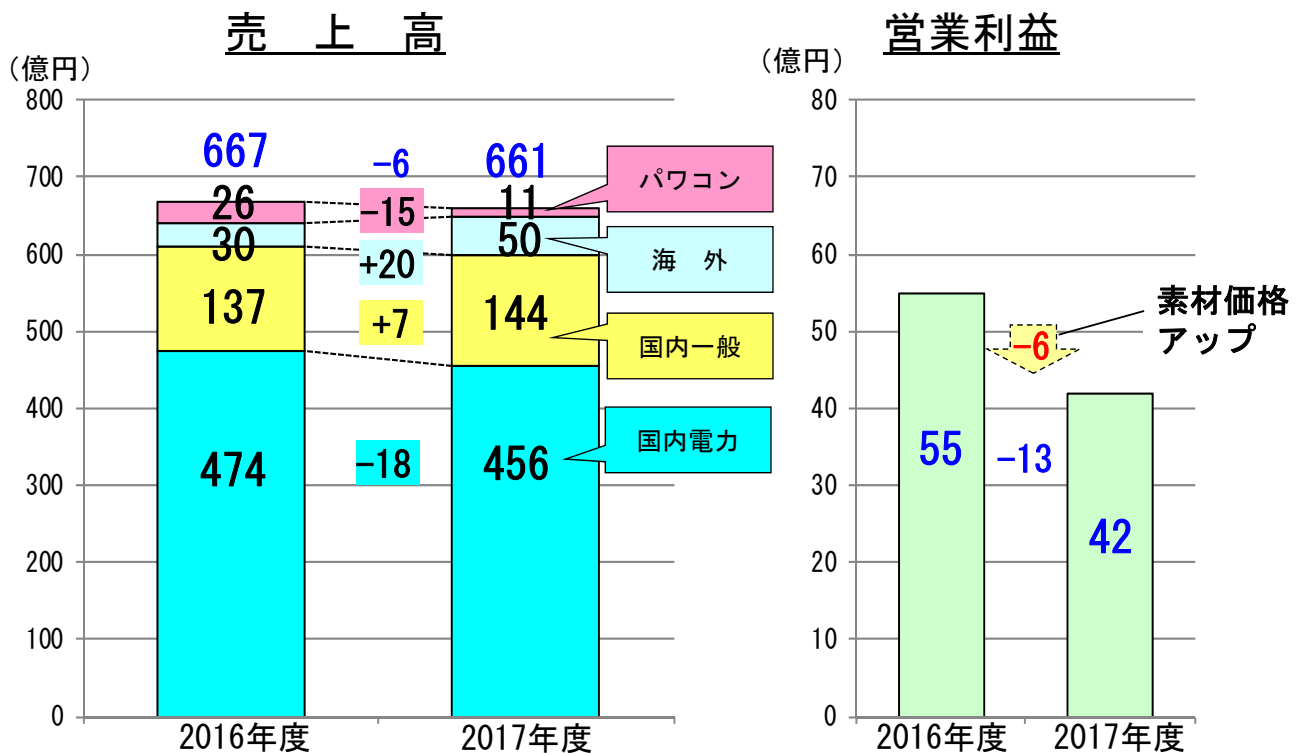
DAIHEN

P4

# 株価の推移



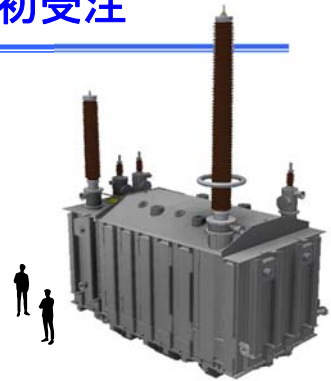
# セグメント情報 1 電力機器



# 1 電力機器

## タイ発電公社(EGAT)向50万ボルト変圧器を初受注

- ・タイ子会社DAIHEN ELECTRIC社がタイ発電公社EGATから電圧50万ボルト超高压大容量変圧器7台をタイ国内メーカーとして初めて受注。
- ・今後、東南アジアを中心に超高压変圧器ビジネスの拡大を目指す。



50万ボルト 超高压変圧器



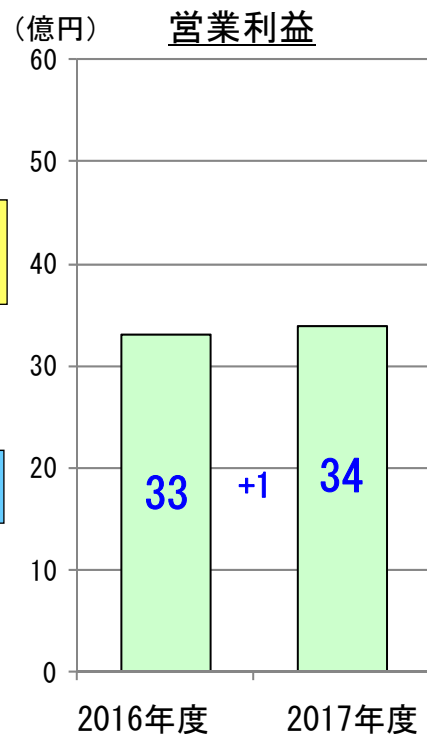
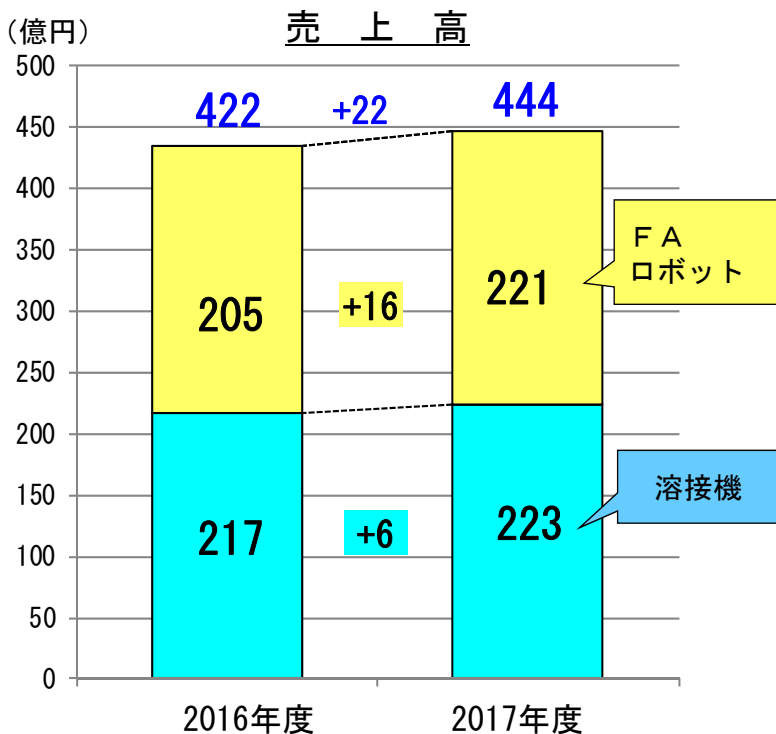
### <ダイヘンエレクトリック社の経歴>

- ・1989年 設立
- ・2012年 超高压変圧器新工場建設 (東南アジア最大規模)
- ・2014年 EGAT向20万ボルト超高压変圧器の納入
- ・2015年 マレーシア発電公社向30万ボルト超高压変圧器の納入 (2017年度 売上高57億円, 営業利益5億円)



P7

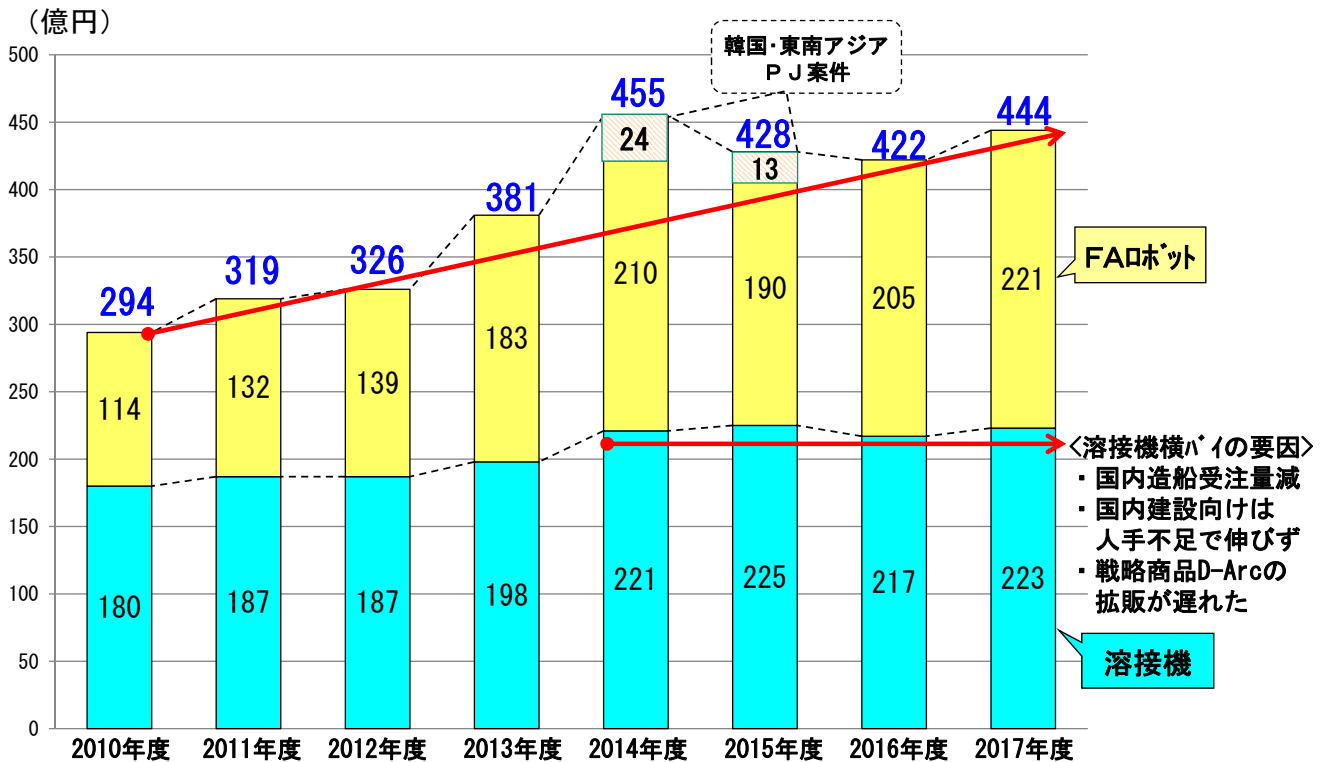
## セグメント情報 2 溶接メカトロ



P8

## 2 溶接メカトロ

# 溶接メカトロセグメント製品別売上高の推移



DAIHEN

P9

## 2 溶接メカトロ

### 溶接機

### 課題. 厚板溶接用戦略製品 “D-Arc” の拡販に時間を要した

#### <D-Arcの特徴>

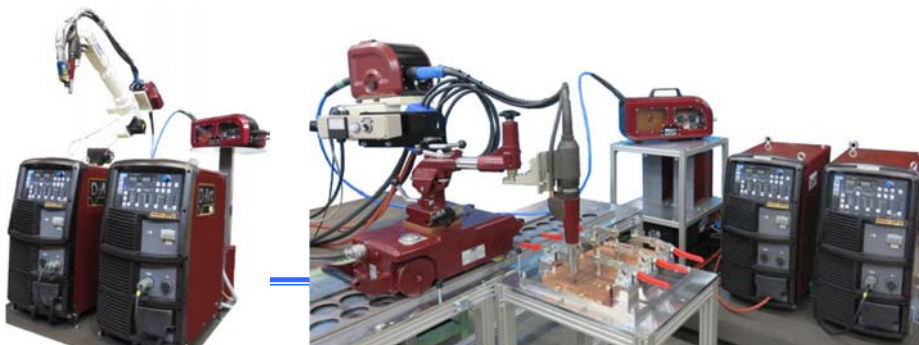
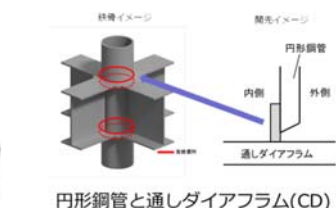
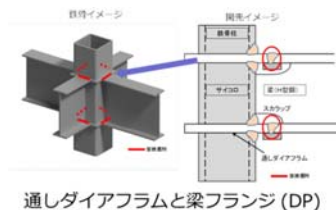
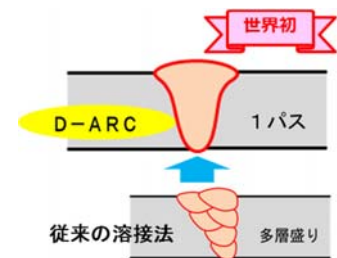
- ・約20mmの厚板溶接時
  - ・従来は6回の繰返し溶接 ⇔ D-ARCなら1回の溶接で完了
  - ⇒溶接時間・ガス使用量8割削減。

#### <販売目標未達(4億円⇒1億円)の要因>

- ・製品のメリットは伝わったが、これまでにない工法のため顧客サイドでの新プロセス評価に予想以上の時間がかかっている。
- ・業界認証の取得にも予想以上の時間がかかった。  
(JIS認証以外にも鉄骨の継手形状ごとに個別の認証が必要)

#### <2018年度の取り組み>

- ・各種認証取得を終え、本格販売開始。
- ・ロボットシステムに台車使用も追加して利用シーン(長尺ワークに対応)を拡大。



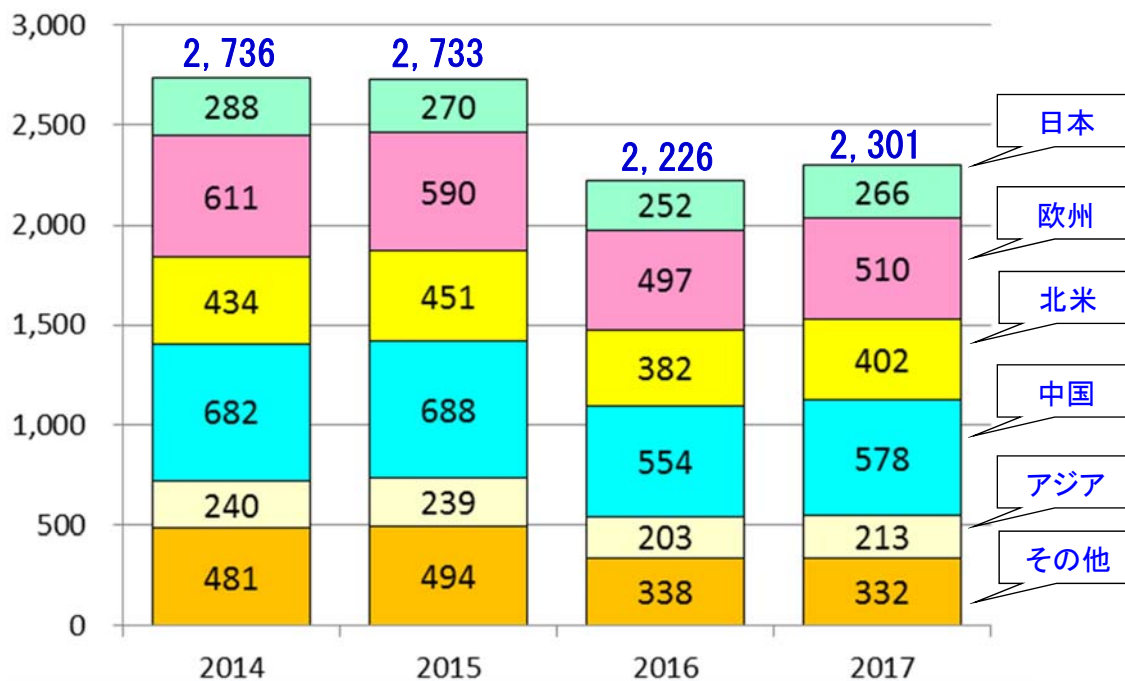
DAIHEN

P10

## 世界のアーク溶接機市場の推移

(億円)

アーク溶接機は市場全体に停滞感



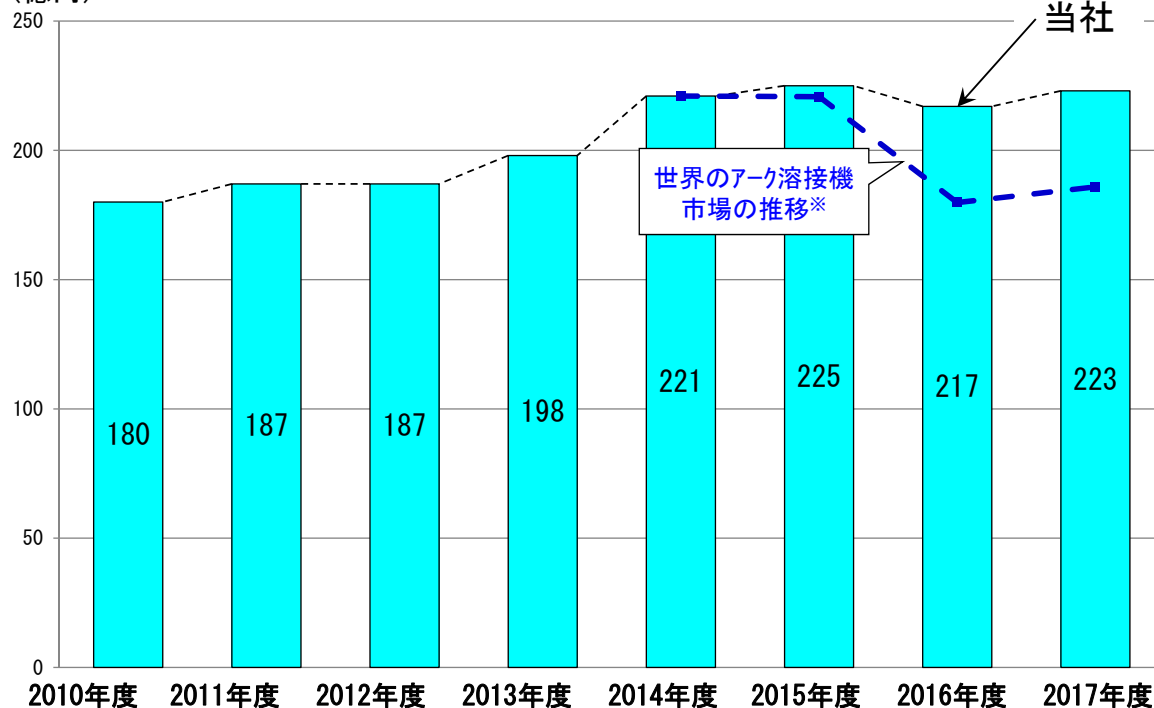
出展：ウェルディングマート2015-2018に基づく当社試算

DAIHEN

P11

## 溶接機の売上高推移

(億円)



※ 世界のアーク溶接機市場の推移:2014年度を起点として数値を指数化して表示

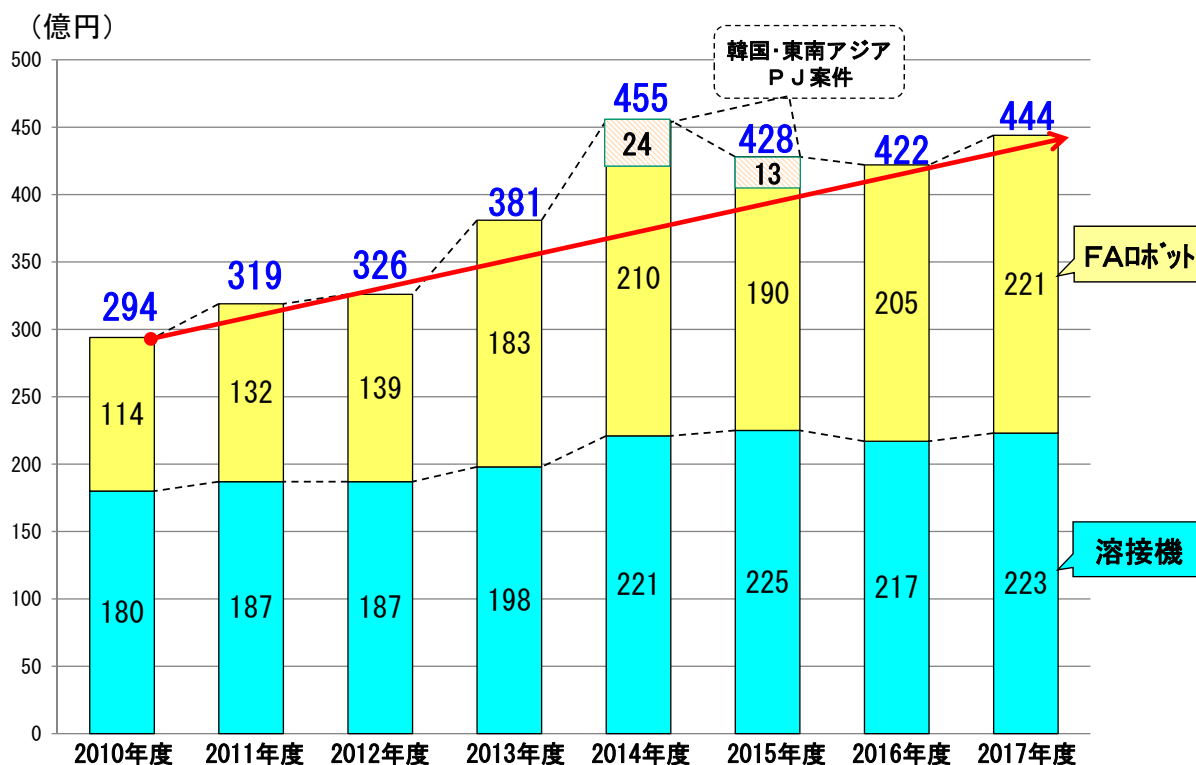
DAIHEN

P12

## 2 溶接メカトロ

FAロボット

### 溶接メカトロセグメント製品別売上高の推移



DAIHEN

P13

## 2 溶接メカトロ

FAロボット

### シンクロフィード溶接システムがロボットの販売拡大を牽引

- ・圧倒的な溶接品質(低スパッタ,高速)を実現したシンクロフィード溶接システムが新規ユーザ開拓で威力を発揮。

…2017年度FAロボット売上高対前年増加額の約半分がシンクロフィード



#### ■2017年度のシンクロフィード溶接システムに関する取り組み

##### <適応範囲の拡大>

- ・ **軟鋼**  
使用率350Aで100% 厚板でも十分な溶け込みを確保
- ・ **ステンレス**  
高入熱モードによりフラットで十分なビード幅を実現
- ・ **アルミ**  
アルミ薄板の高品質溶接を実現

##### <操作性・メンテナンス性の改善>

- ・ コントローラ省配線化
- ・ 送給性能の改善

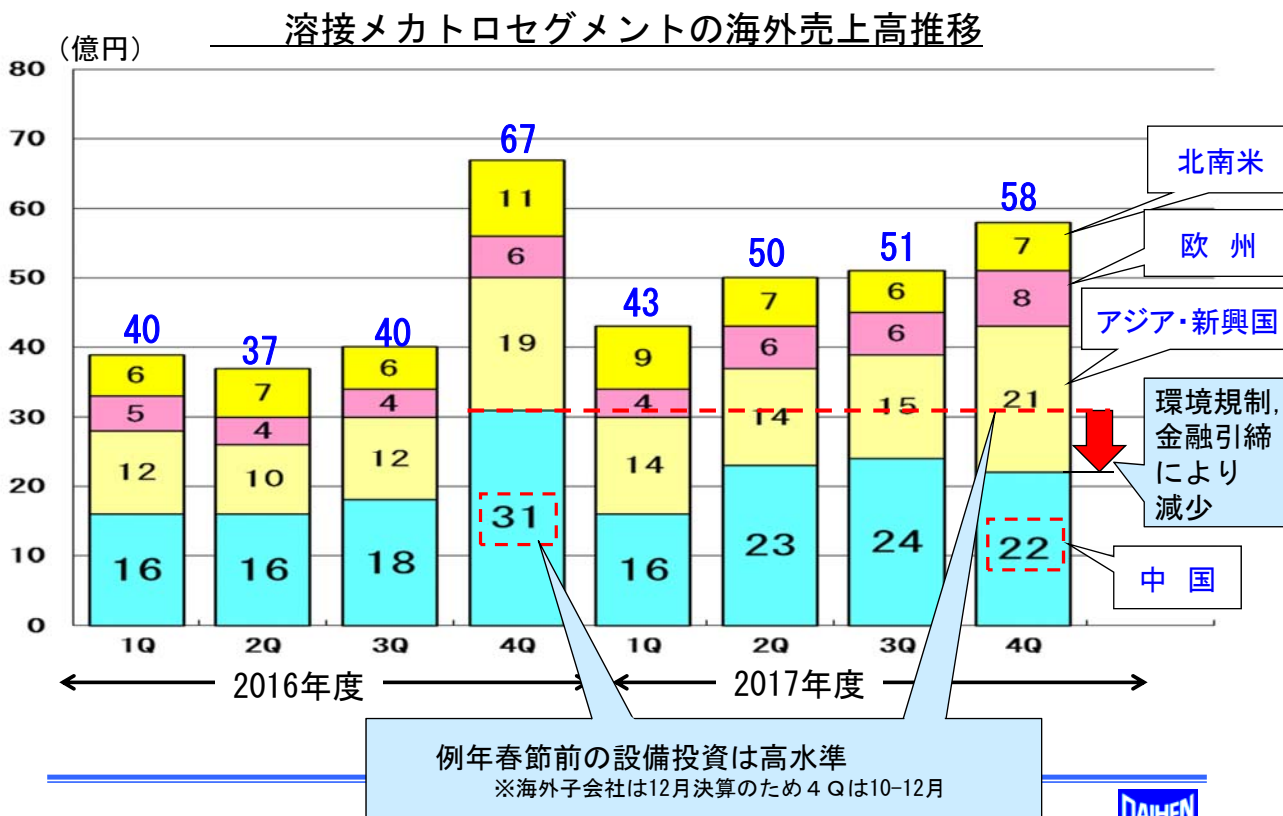
DAIHEN

P14

2 溶接メカトロ

FAポイント

課題1. 中国での環境規制の影響で第4四半期の売上高に停滞感



DAIHEN

2 溶接メカトロ

FAポイント

課題. 中国での環境規制の影響で第4四半期の売上高に停滞感

①2017年度後半に**華北地区**(北京・天津、他)で**環境規制の影響**により**中小企業(金属加工業, スチール家具製造, 電動2輪・3輪製造)**からの引合案件の遅延や消滅等が生じた。

②**華東地区**(青島、他)でも**環境規制と金融引締め**の影響で**中小企業(自動車部品・ボイラー製造)**の設備投資が先送り傾向となった。

…①、②及びその他案件の**合計約9億円のマイナス影響**



北京・天津等の大工業都市を含む

当社の最大販売地域

自動車産業が盛ん

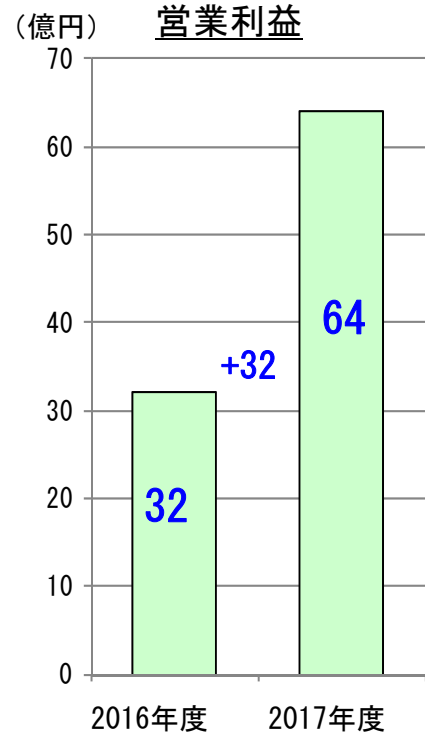
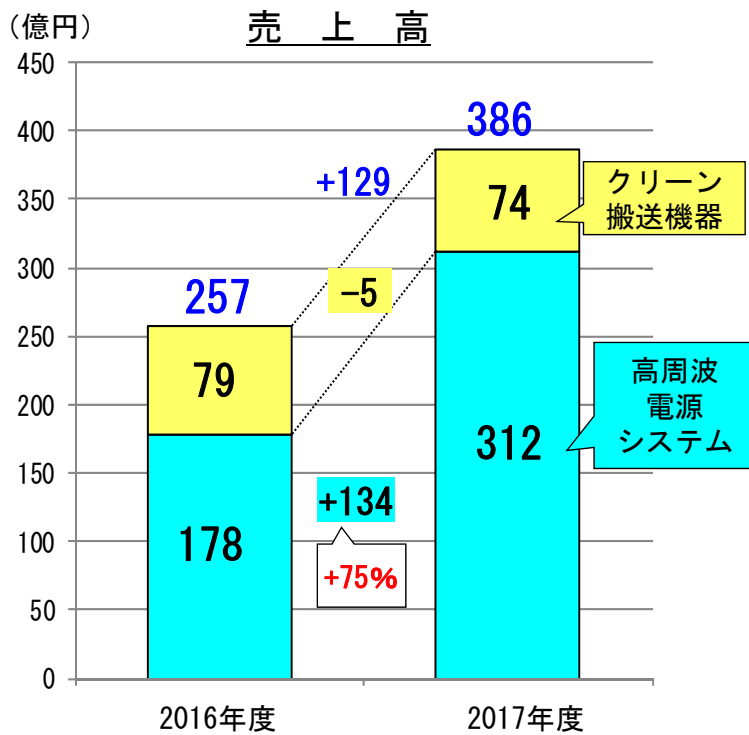
一方、**華南地区**の自動車関連**大手ユーザ**は整備が進んでおり**好調を継続した**。

2017年度後半から**華南地区**の**大手ユーザ**に強い**代理店・SIer**との**関係強化**  
⇒ **2018年度の受注は上向き傾向に転じている**

DAIHEN



# セグメント情報 3 半導体関連機器

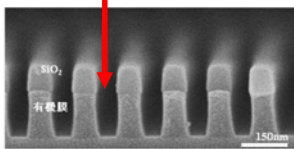


DAIHEN

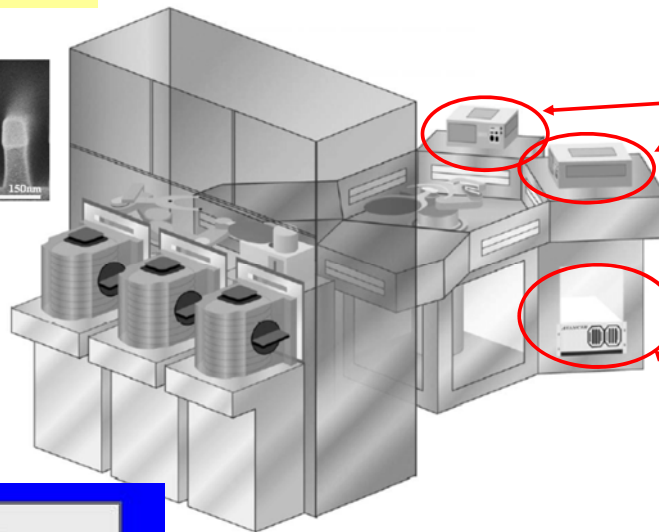
P17

## 3 半導体機器関連 半導体製造装置に搭載される当社製品

エッチング工程  
プラズマで溝や穴を掘る



半導体エッチング装置



プラズマ発生用  
高周波電源システム

高速自動整合器

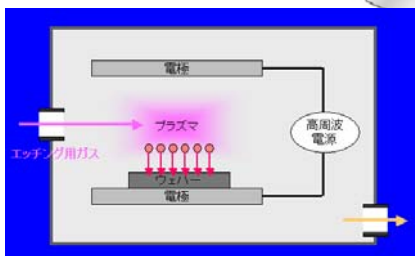


超高速整合(従来比  
100倍レベルの高速化)

高周波電源



高精度な出力制御技術



DAIHEN

P18

## デバイス別半導体装置市場の状況

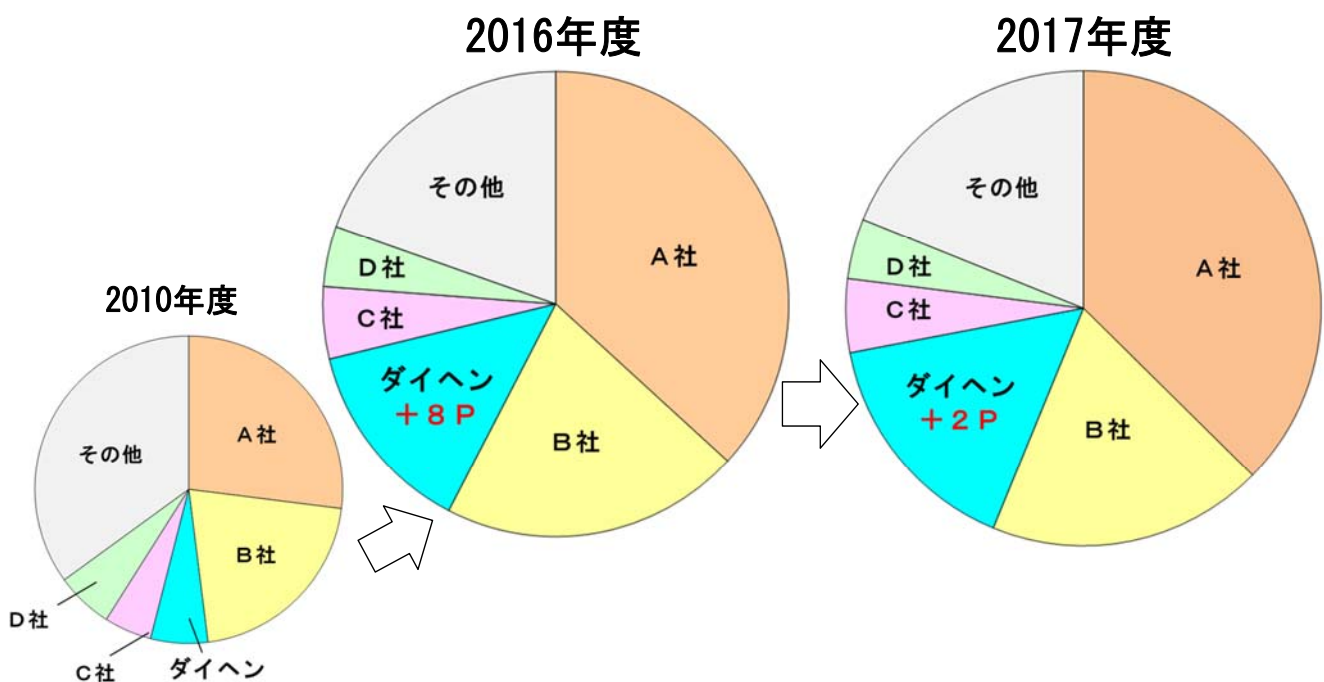
デバイス種類			デバイス市場 (下段：前年比)		製造装置市場 (下段：前年比)	
			用途	2016	2017	2016
(記憶デバイス)	NAND型フラッシュメモリー	データセンター サーバー PC モバイル	8.4兆円	13.5兆円 +60%	0.72兆円	1.34兆円 +88%
	DRAM	サーバー PC モバイル			0.63兆円	0.90兆円 +44%
(演算デバイス)	ロジック (MPU含む)	モバイル PC	16.7兆円	18.1兆円 +8%	2.20兆円	2.86兆円 +30%
	ファウンドリー					
その他 (7ナグ等)		車載/民生/ 産業機器全般	12.2兆円	13.3兆円 +9%	0.35兆円	0.51兆円 +44%
合計			37.3兆円	44.9兆円 +20%	3.89兆円	5.61兆円 +44%

※ 主要装置メーカーの情報をもとにした当社想定 (110円/ドルで換算)



## セグメント情報 3 半導体関連機器

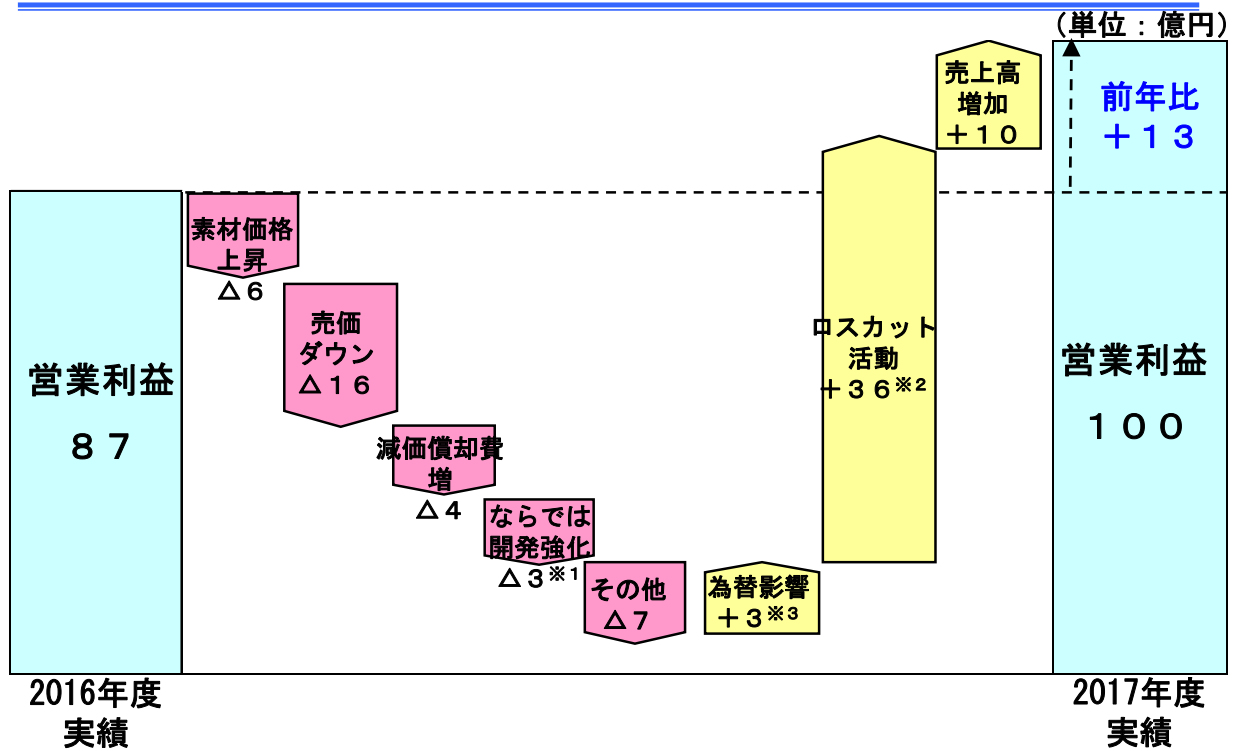
### ■ 高周波電源システムのシェア (世界)



出展：『世界半導体製造装置・試験/検査装置市場年鑑2011, 2017, 2018』  
(Global Net Corp.)



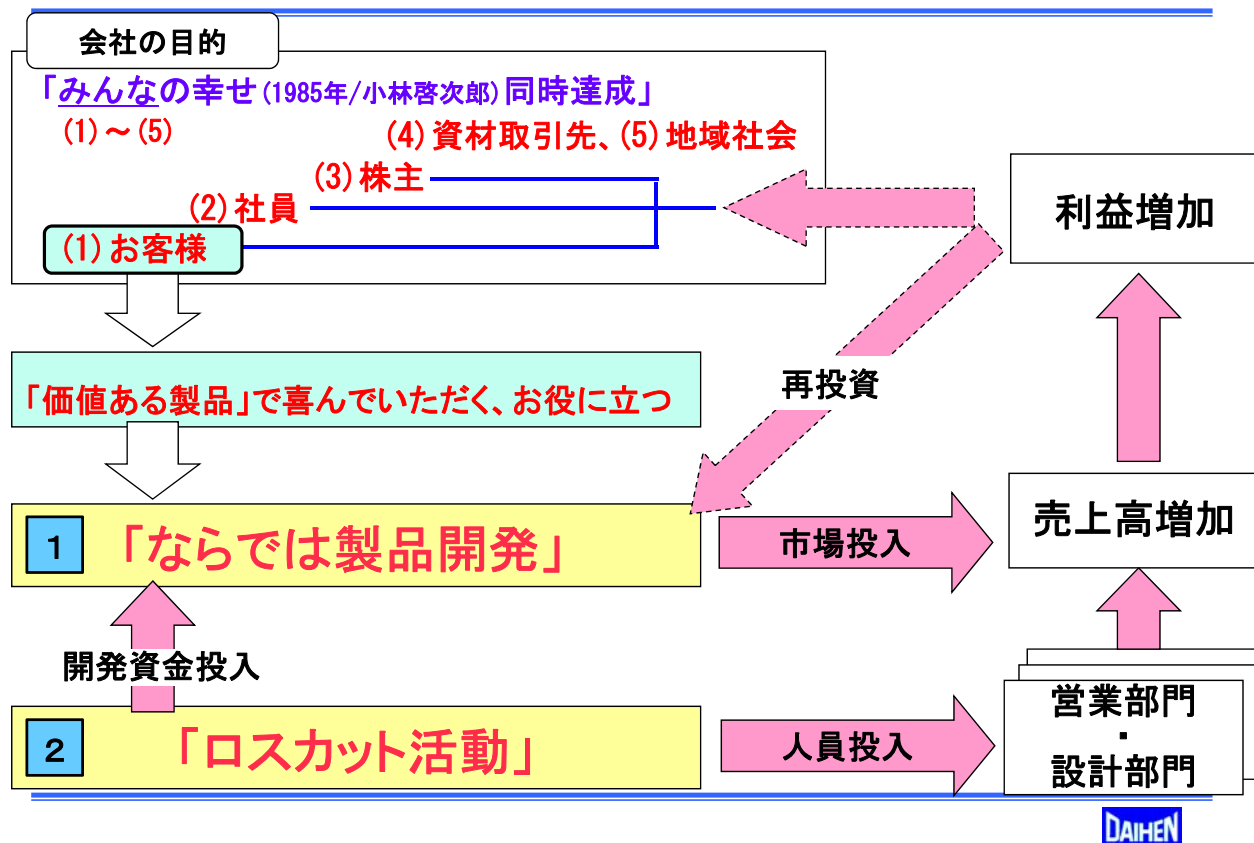
# 2016～2017年度営業利益変動要因



- ※1. 開発強化（研究開発費増）： 2016年度 54億円 ⇒ 2017年度 57億円
- ※2. ロスカット活動： 2016年度 91億円 ⇒ 2017年度 127億円
- ※3. 為替影響： 2016年度平均107円/ドル ⇒ 2017年度平均 110円/ドル  
(1円/ドル当りの利益影響額 約1億円)

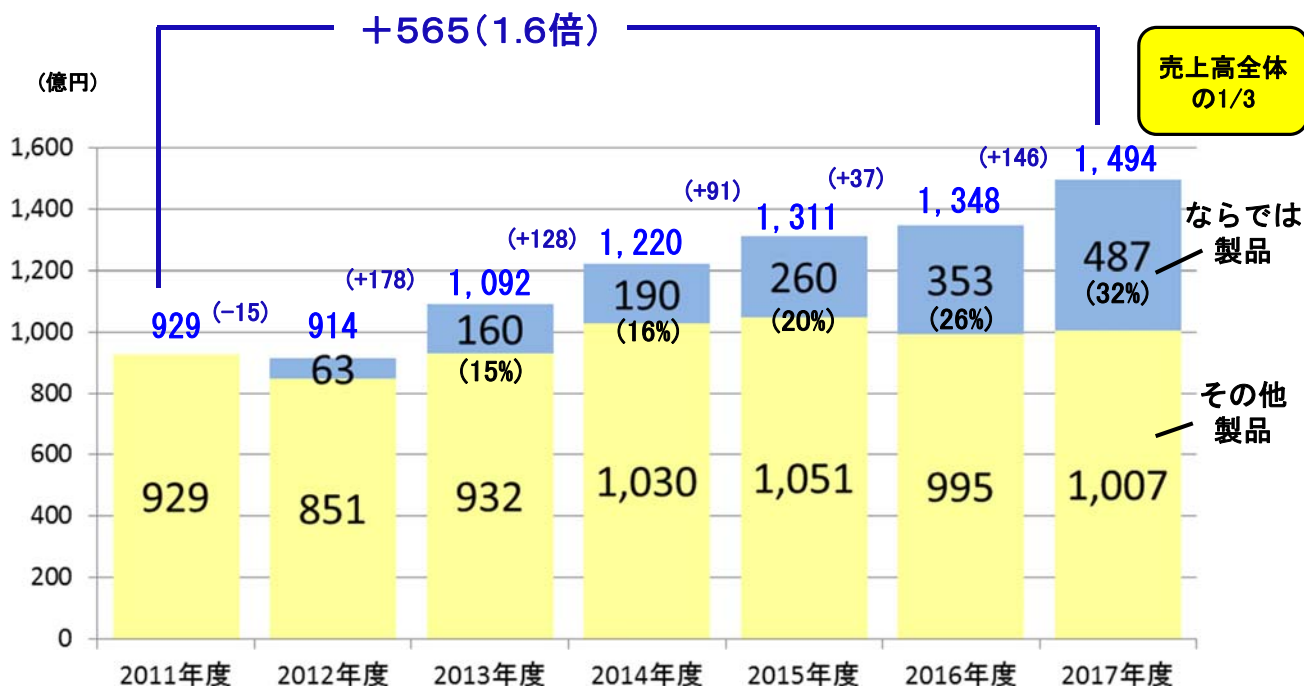
## 中期計画“DAIHEN Value2014”“同2017” の取り組み方針と成果

# “DAIHEN Value2014”“同2017”の基本骨子



P23

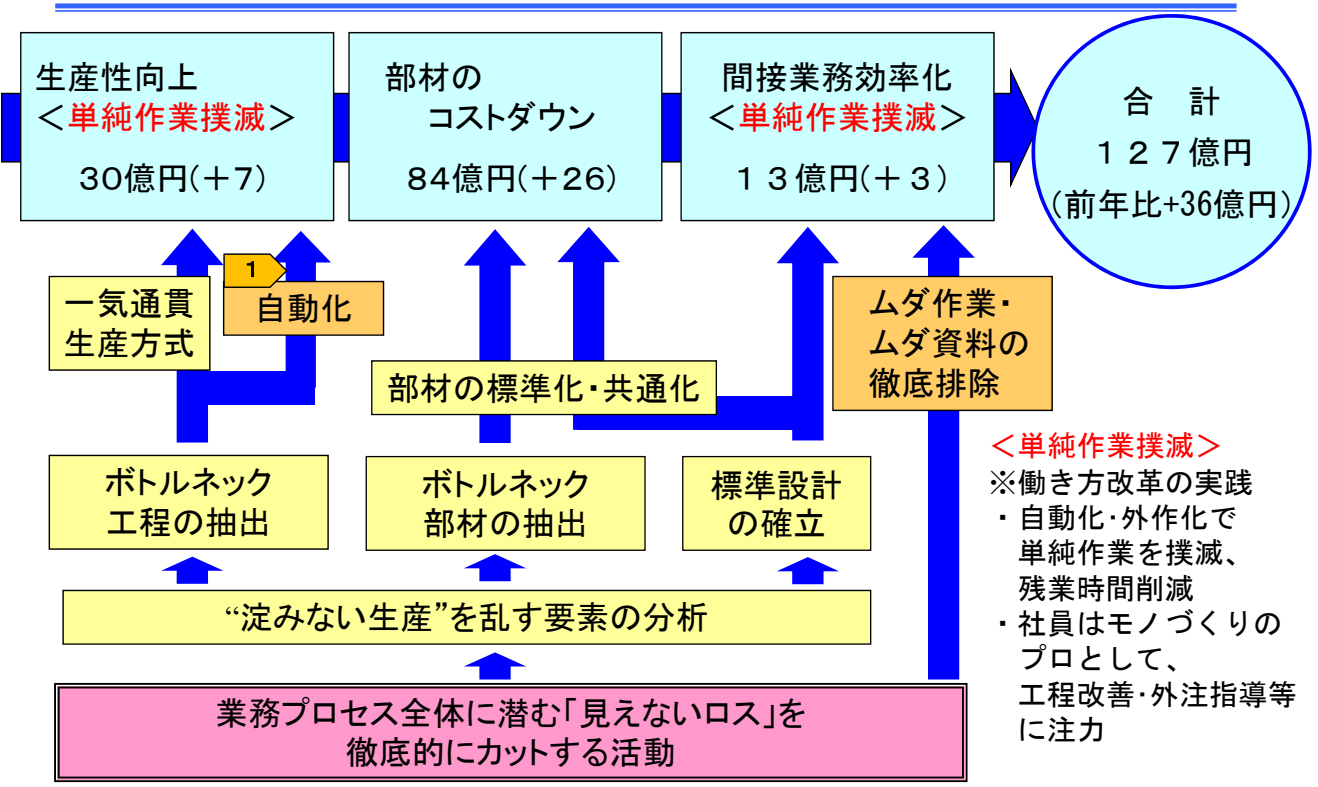
## 1 「ならでは製品開発」 ならでは製品が着実に全社売上高拡大を牽引



DAIHEN

P24

## 2 「ロスカット活動」の成果



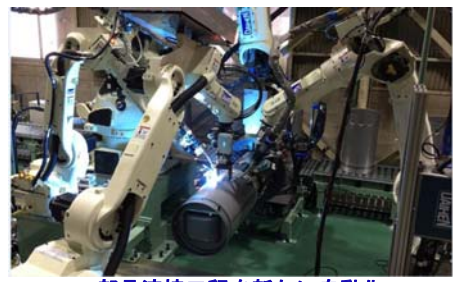
※( )内の数値は2016年度との対比



## 2 「ロスカット活動＜単純作業撲滅＞」 1 生産自動化の取り組みが進化

■ 自動化の取組み事例 (左：2016年度末時点、右：2017年度末時点)

・ ポールトランスケース生産の**完全自動化**



自動化率  
70 → 80%  
余力増出(7人)

・ 六甲事業所でのロボット生産自動化

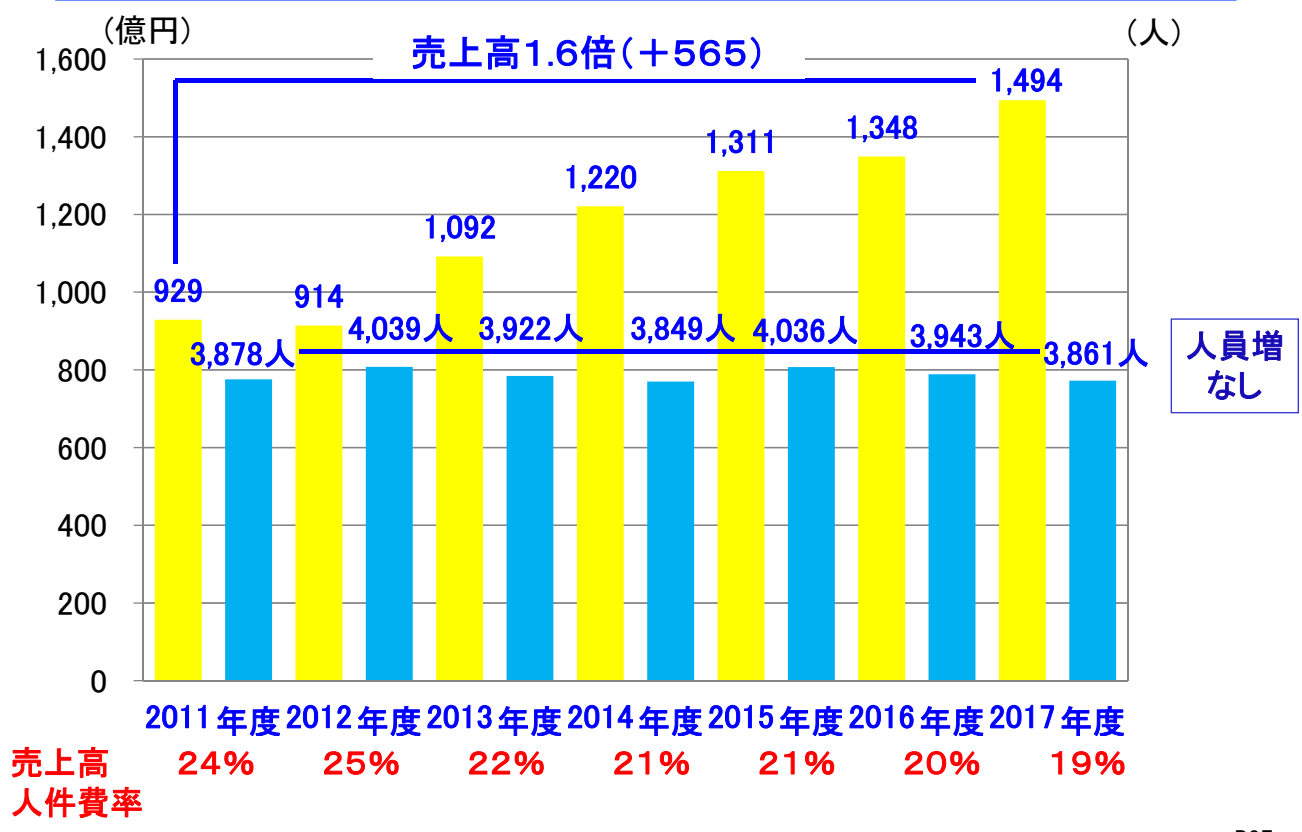


自動化率  
80%  
余力増出(16人)



2

# 「ロスカット活動」の成果 ～人員増なしで売上高1.6倍に対応～



## 2017年度中計経営計画の総括

	2011年度 実績 ①	2017年度			
		中計目標 ②	実績 ③	2011年比 ③/①	中計目標比 ③/②
売上高	929億円	1,500億円	1,494億円	○ 1.6倍	○ ほぼ達成
営業利益	37億円	—	100億円	2.7倍	—
営業利益率	4.0%	8%	6.7%	○ +2.7ポイント	× -1.3ポイント
ROE	4.5%	10%	9.3%	○ +4.8ポイント	△ -0.7ポイント
社員	3,878人	—	3,861人	増加なし	

<業績数値の総括>

- ・ さらには開発とロスカット活動の取組みにより、2011年度に比べ業績向上。  
 ・ ・ ・ 売上高・営業利益ともに過去最高を達成。
- ・ 太陽光発電用パワコンの減や素材価格高騰の影響などにより、営業利益率は目標未達となった。  
 ・ ・ ・ 営業利益率目標(8%)達成は次期中計の課題。

---

# 中期計画“DAIHEN Value2020”

---

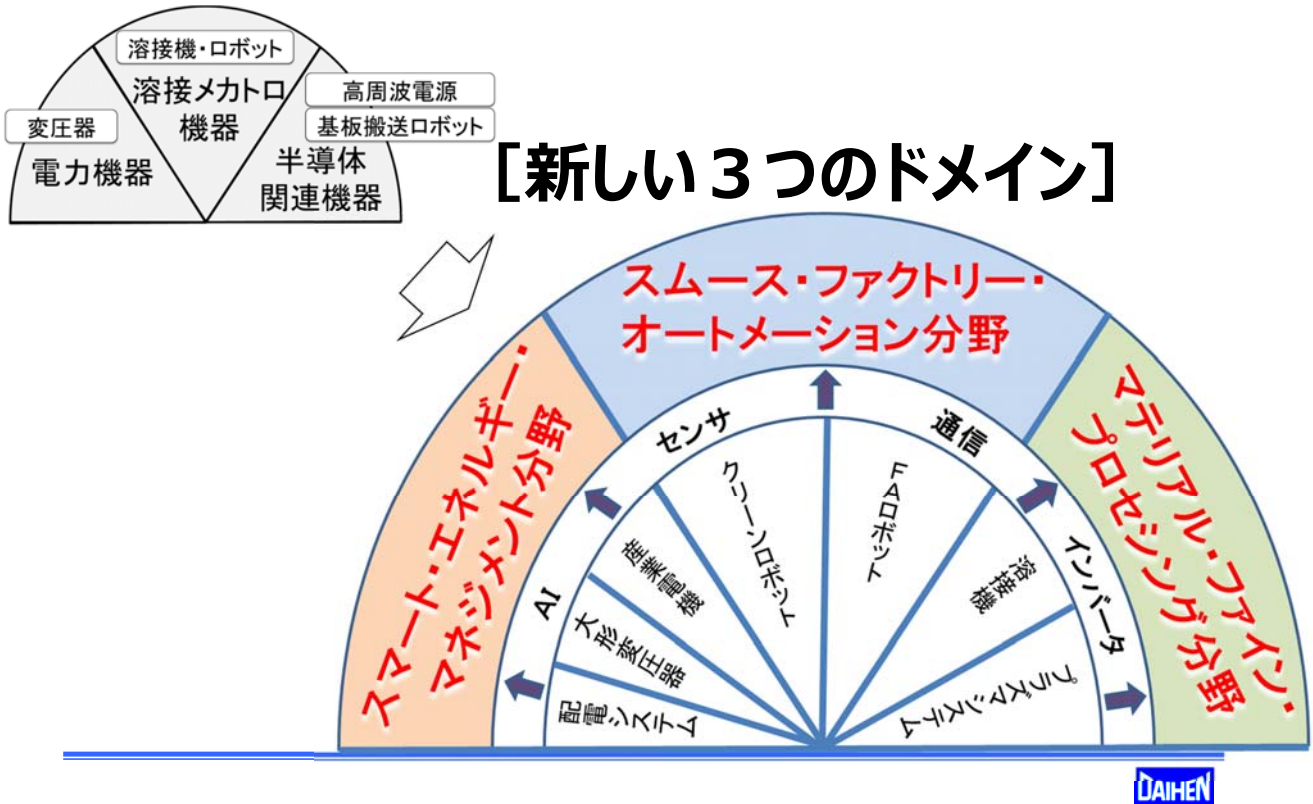
## 2018～2020年度中期経営計画“DAIHEN Value 2020”

---

### ■基本方針

- 1 新ドメインでのならでは製品開発推進とシステム志向のビジネス展開
- 2 グループワイドでのコスト最適化
- 3 セールスエンジニアリング力の強化

1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進  
 新ドメインの定義 ~未来志向で発展的な開発推進~



P31

1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進  
 新ドメインの定義 ~未来志向で発展的な開発推進~

A. 「スマート・エネルギー・マネージメント分野」

- ・ 従 来：変圧器を中心とした機器単品販売
- ・ 方向性：スマートコミュニティなどの多様化する分散化電源を制御・管理する機器・システムの提供
- ・ 新たな電力用途（EVなど）の普及拡大に資する機器・システムの提供

B. 「スムーズ・ファクトリー・オートメーション分野」

- ・ 従 来：アーク溶接・FPD搬送ロボット専門
- ・ 方向性：工場全体の淀みない自動化に貢献する総合FAロボットメーカー

C. 「マテリアル・ファイン・プロセッシング分野」

- ・ 従 来：アーク溶接機、プラズマ発生用電源専門
- ・ 方向性：プラズマ・レーザ等のエネルギー源の高精度な制御によるモノづくりの技術革新に必要な新プロセスの提供



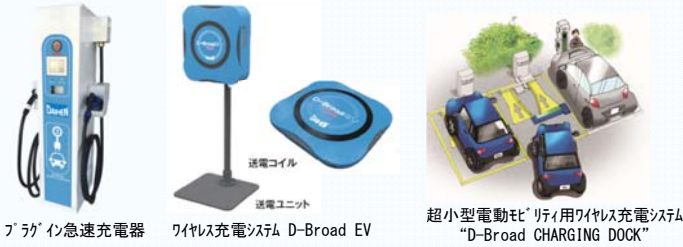
# 1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進

## A. スマート・エネルギー・マネージメント分野

### EV充電インフラシステム

…世界的なEVシフトに対応し、プラグイン、ワイヤレス充電システムなどラインアップを充実

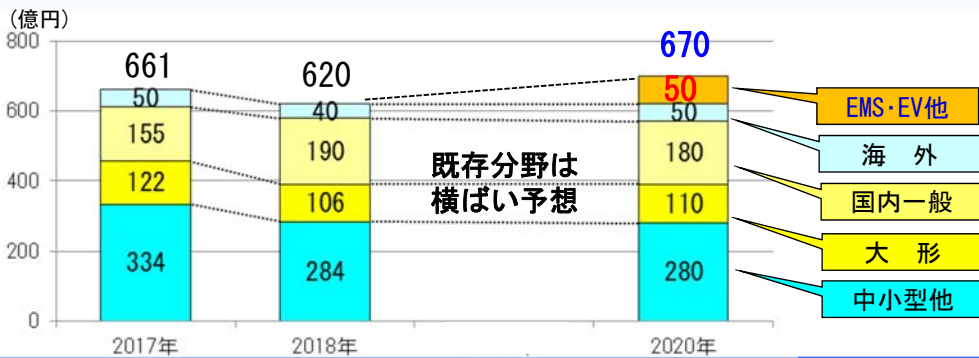
⇒2020年度売上高目標：20億円



### エネルギー管理システム、特高受配電システム一式、他

…高額な中央監視制御装置を不要とし、複数の設備を最適に制御する新技術  
・スマートコミュニティ等でのエネルギー最適化ニーズに対応

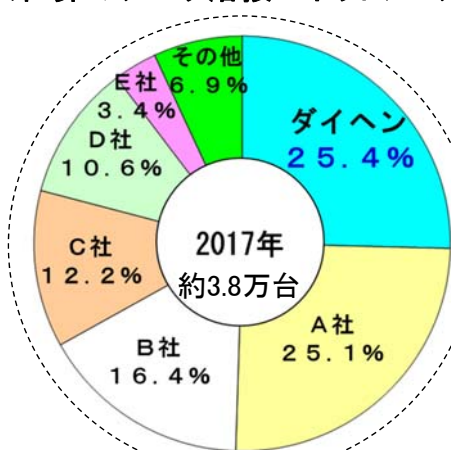
⇒2020年度売上高目標：30億円



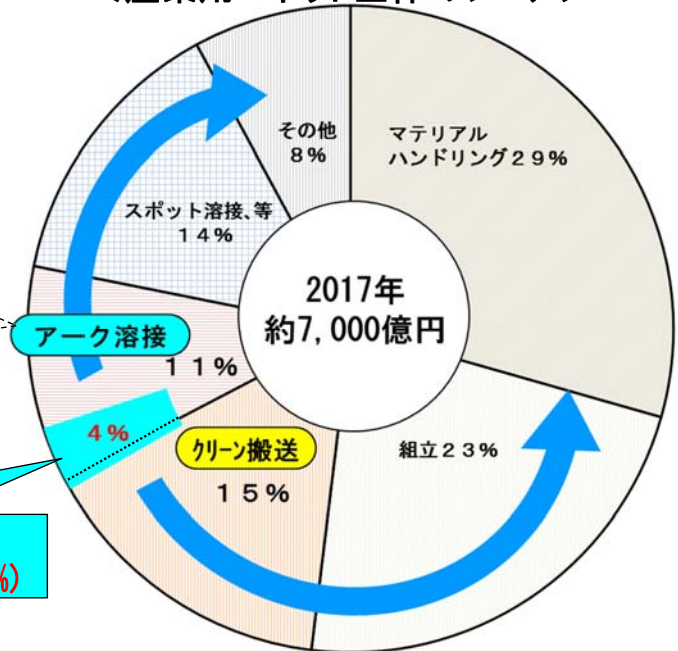
# 1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進

## B. スムース・ファクトリー・オートメーション分野

### <世界のアーク溶接ロボットシェア>



### <産業用ロボット全体のシェア>



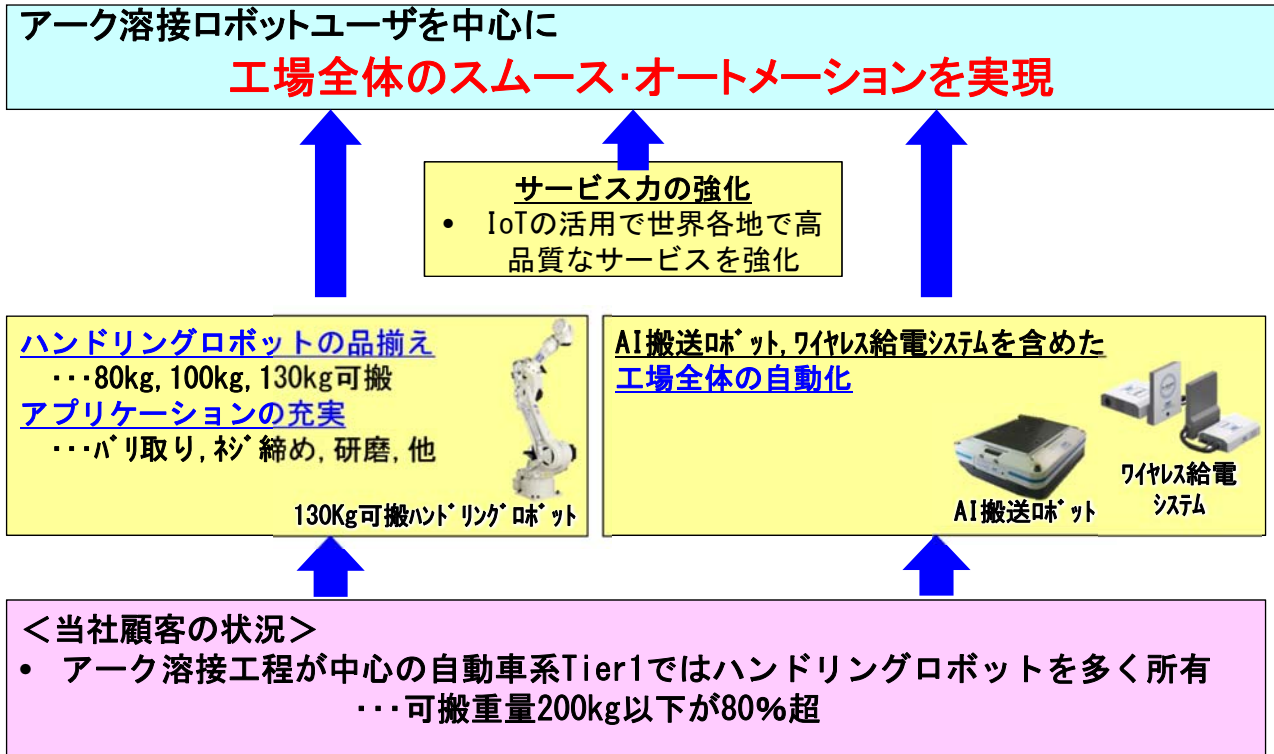
産業用ロボット全体に占めるダイヘンのシェア 4% (アーク3% + クリーン1%)

産業用ロボット全体でのシェア10%を目指す  
【中計目標7%：+3ポイント】<現状約300億円⇒460億円(+160億円)>

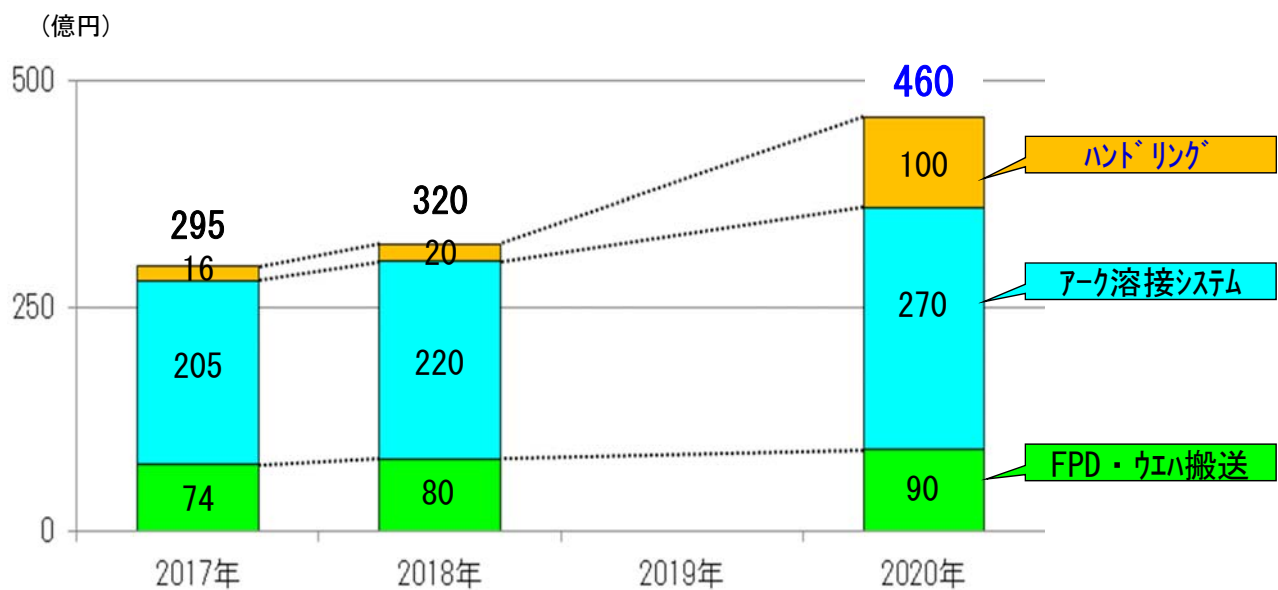
※アーク溶接ロボット：富士経済  
産業用ロボット全体：日本ロボット工業会のデータから電子部品実装等を除外



1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進  
 B. スムース・ファクトリー・オートメーション分野



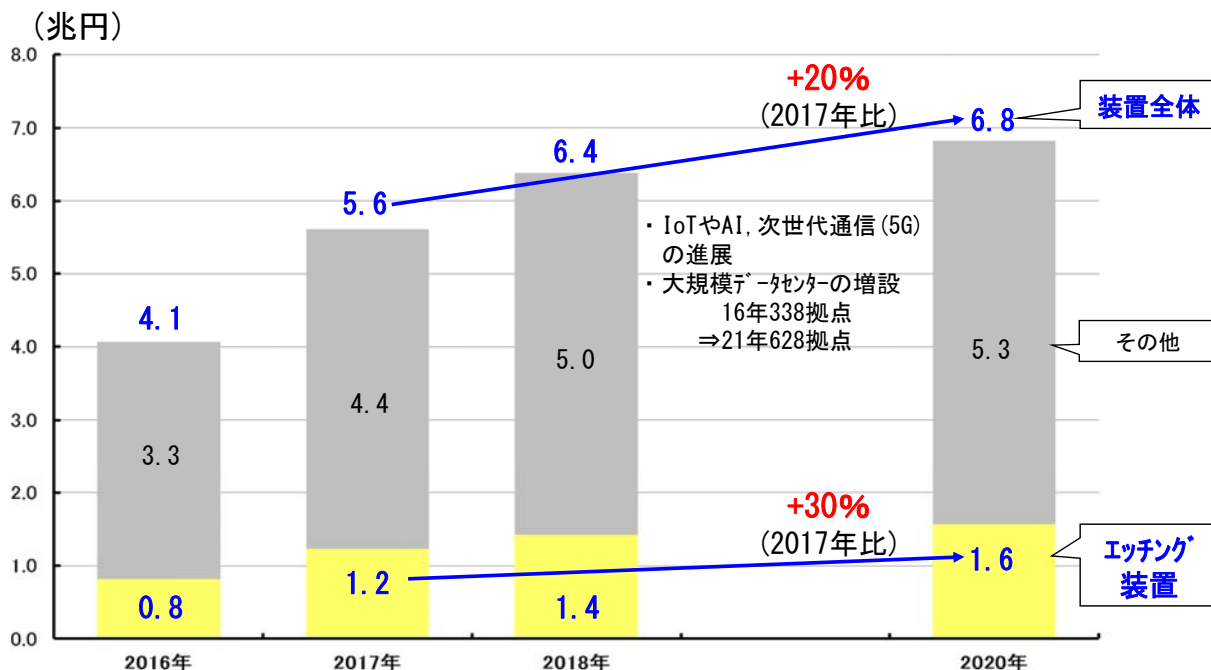
1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進  
 B. スムース・ファクトリー・オートメーション分野



# 1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進

## C. マテリアル・ファイン・プロセッシング分野

半導体製造装置市場は持続的に成長する見通し。



※ 主要装置メーカーの情報をもとにした当社想定 (110円/ドルで換算)



# 1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進

## C. マテリアル・ファイン・プロセッシング分野

### デバイス別半導体装置市場の状況

デバイス種類	用途	デバイス市場 (下段: 前年比)		製造装置市場 (下段: 前年比)		
		2016	2017	2017	2018	2018見通し
(記憶デバイス)	NAND型フラッシュメモリー	13.5兆円	14.8兆円 +9%	1.34兆円	1.32兆円 -2%	デバイス価格と歩留り改善により四半期レベルでの調整の可能性はあるが、通期で見れば昨年と同水準
	DRAM			0.90兆円	1.44兆円 +60%	
(演算デバイス)	ロジック (MPU含む)	18.1兆円	19.1兆円 +6%	1.29兆円	1.31兆円 +2%	歩留り改善のため一時的な投資延期を行うが、通期で見れば同水準
	ファウンドリー			1.57兆円	1.65兆円 +5%	
その他 (7ナノ*等)	車載/民生/産業機器全般	13.3兆円	14.2兆円 +7%	0.51兆円	0.66兆円 +30%	AI/自動運転等で継続成長
合計		44.9兆円	48.1兆円 +7%	5.61兆円	6.38兆円 +14%	—

※ 主要装置メーカーの情報をもとにした当社想定 (110円/ドルで換算)



# 1 新ドメインでのならでは開発・システム志向のビジネス展開推進

## C. マテリアル・ファイン・プロセッシング分野

① 革新的な異材接合プロセス(レーザー・アークハイブリッド法)を開発する。  
 ...アーク溶接と同様の手軽さを実現(前工程の手間が不要)



■マテリアル・ファイン・プロセッシング分野の売上高目標

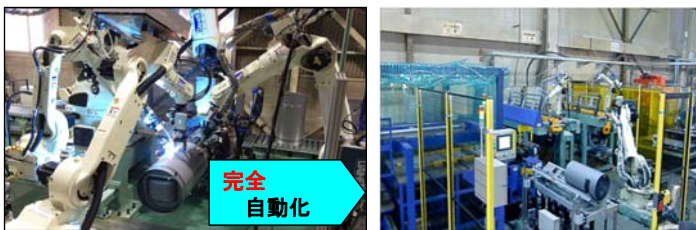
	2017年	2018年	...	2020年
高周波電源システム	312	+28% → 400		430
異材接合	—	—		10
厚板新プロセス	1	4		10
アーク溶接	222	226		220
合計	535	630		670

(単位：億円)



# 2 グループワイドでのコスト最適化 生産自動化のグループ本格展開

## 変圧器製作工程自動化



南電器製作所(香川)

ダイホク工業(北海道)

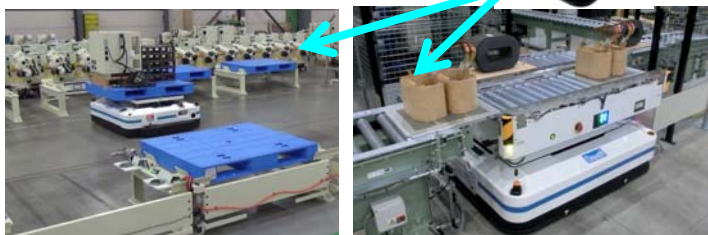
## コンタクトチップ工程自動化



六甲工場(兵庫)

ダイヘンアジア(タイ)

## AI搬送ロボット導入



六甲工場(兵庫)

キューヘン(九州)

- ・ 自動化ノウハウの水平展開
- ・ 同一製品・複数拠点生産の品目について最適な生産体制を今後検討

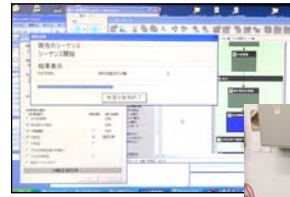


## 2 グループワイドでのコスト最適化<RPAの活用範囲拡大> 高周波電源増産対応でのRPA(Robotic Process Automation)活用事例

- ・ 検査ソフトのオペレーションでの繰返し単純作業をRPAで自動化。  
検査要員の大幅削減を実現(10台/10人 ⇒ 10台/4人)
- ・ 検査対象範囲拡大だけでなく、事務間接部門にも展開する。

DSK プラズマ電源FGA-30G 検査エリア

【従来】各検査ラインに1名ずつ配置していた



【導入後】10ラインを2つのエリアに分けて複数の検査ラインを担当



DAIHEN

P41

## 3 セールスエンジニアリング力の強化

もっとお客様に製品価値を認めて頂き、安心してご利用頂くために  
ビフォアからアフターまでの全てのプロセスに亘る  
当社独自の“D-サービス”を確立する。

<D-サービスの主な特徴>

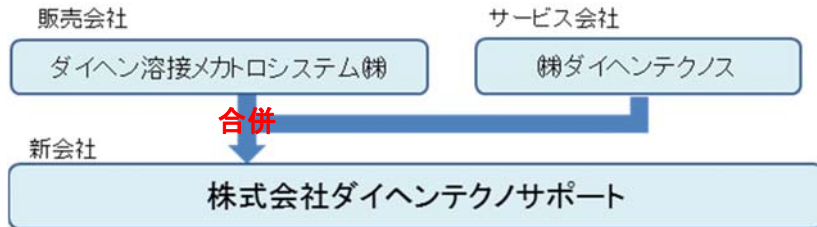
- ① 営業マン全員がセールスエンジニア
- ② 代理店との協業による巡回サービス強化
- ③ コールセンタの設置…エンジニアによる的確で迅速な対応
- ④ IoT活用によるリモートメンテナンス・溶接施工管理等

DAIHEN

P42

### 3 セールスエンジニアリング力の強化 ～国内の販売会社とサービス会社を合併～

- 2018年7月：製品販売を受持つダイヘン溶接メカトロシステム(株)とサービスを受持つ(株)ダイヘンテクノスを統合し、株式会社ダイヘンテクノサポートを設立予定。
- 営業マンを現場での修理や溶接ノウハウの指導力を合わせ持つセールスエンジニアに短期再教育し、営業・サービス一体化による顧客サポート力向上を図る。



#### ■新会社の概要

- 会社名：(株)ダイヘンテクノサポート
- 資本金：3億円
- 売上高：約225億円
- 社員数：約200人
- 代表者：代表取締役社長 森本 慶樹



P43

### 3 セールスエンジニアリング力の強化 ～テクニカルセンター(TC)の新設・強化に取組み中～

#### ミュンヘンTC



- 溶接・ロボットの展示や依頼実験・デモが行える施設に加え、全事業部を紹介するショールームも併設
- 2016年11月開設

#### 中部TC



- 最新の溶接機とロボットのデモに加え、購入前後のサービスを全て提供する大規模拠点
- 自動車本体や関連部品メーカーが集積する地域へのサービスを強化
- 2018年11月竣工予定

#### 武漢TC



- 溶接機・ロボットのデモに加え導入前検証も可能
- 2017年2月開設

重慶

#### 上海TC



- 旧TC比で3倍の規模
- 2015年6月開設

関東TC  
リニューアル予定

#### 六甲TC



- 最先端機器を常設
- 業界最高レベルの実験環境を整備
- 2015年6月リニューアル

国内外で大規模TCを拡充。世界各地で迅速なアフターサービスを実現するとともに、デモ・実験設備や各種講習会を充実させるなどビフォアサービスの強化を図る。

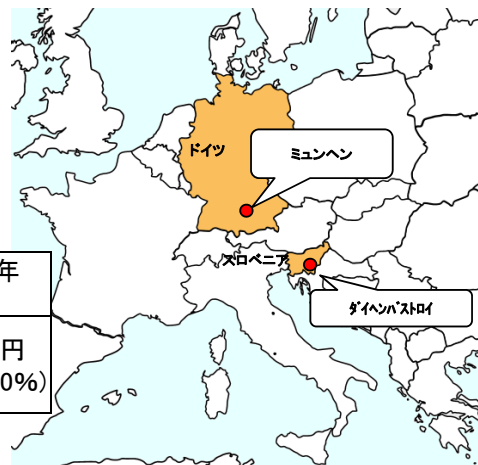


P44

## 欧州事業の拡大

＜これまでの活動＞

- ・ 2016年11月：  
ダイヘンヨーロッパ社の本店を**ミュンヘン**に移転し、**デモ、ソリューション体制の充実**を図った。
- ・ 大手自動車部品メーカーからの新規受注獲得。
- ・ 現地企業と同等の**サービス体制への要望**が強く、本格的な販売拡大には至らず。
- ・ **代理店との関係強化**を図り**巡回サービスを展開中**。**アライアンス候補**との交渉を急ぐ。



	2014年実績	2015年実績	2016年実績	2017年実績	2018年計画	2019年
西欧	19億円	21億円	20億円	24億円	32億円	100億円 (シェア10%)
東欧	14億円	15億円	15億円	17億円	20億円	
計	33億円	36億円	35億円	41億円	52億円	

※欧州アーク溶接機市場 720億円 } 約1000億円  
 欧州アーク溶接ロボット市場230億円 }

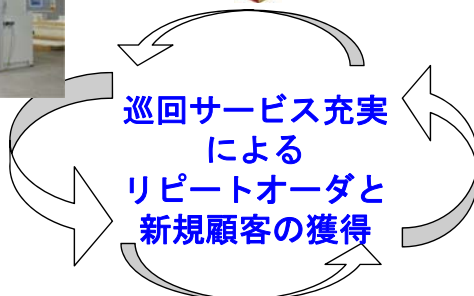


P45

## 欧州事業の拡大 (2018年度の主な取り組み)

① ミュンヘン拠点を活用したドイツ南部の自動車Tier 1 メーカー攻略  
 (2017年3億円⇒2018年10億円<+7億円>)

② システムインテグレータとの協業  
 …ハンドリング、レーザアプリ等の積極展開  
 (2017年1億円⇒2018年3億円<+2億円>)



③ ダイヘンバストロイ製簡易溶接装置の拡販  
 (2018年度1億円<+1億円>)



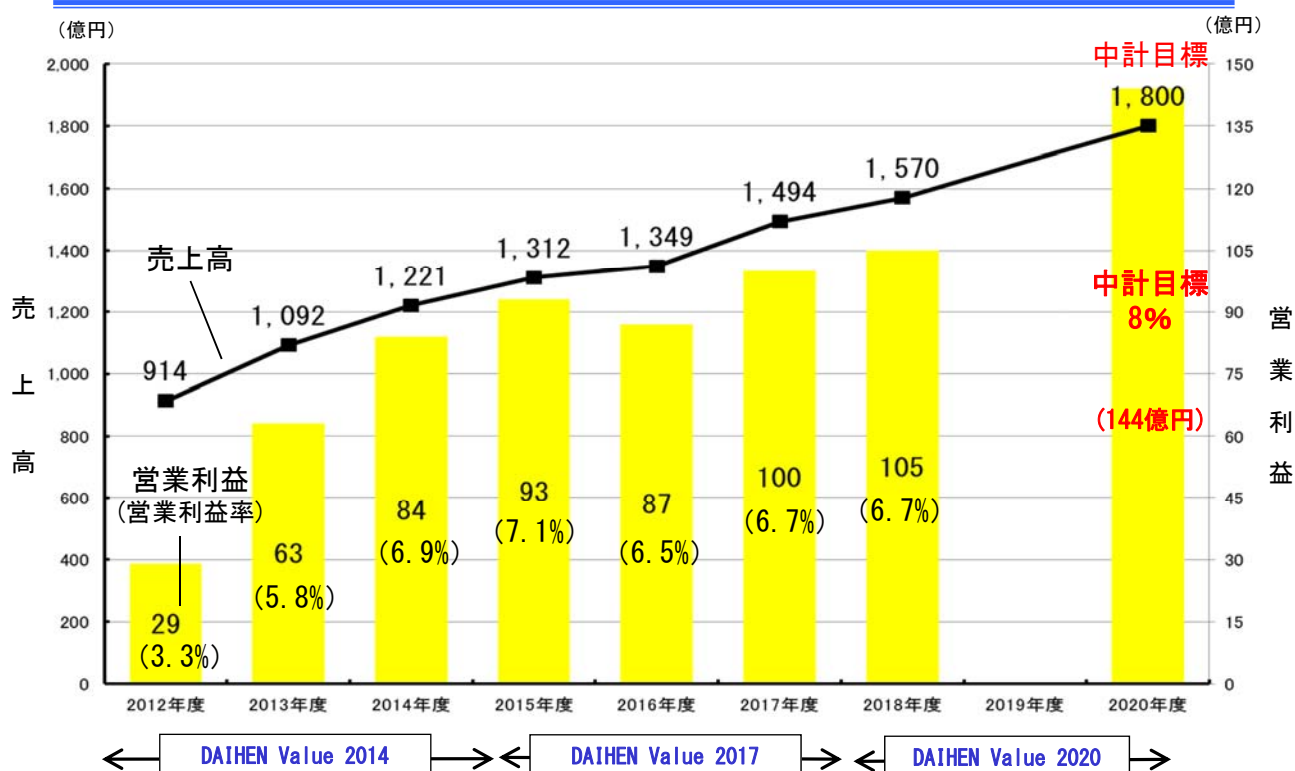
大手業務用厨房機器メーカー RATIONALに納入実績



P46

# 中期計画の業績目標と 利益還元の方

## 中期計画業績目標(売上高・営業利益率)





## 業績目標とステークホルダーへの還元目標

	(2017年度実績)	2020年度目標
◇売上高	(1,494億円)	1,800億円以上
◇営業利益率	(6.7%)	8%以上(144億円)
◇ROE	(9.3%)	10%以上

### <ダイヘンの事業目的> “みんなの幸せ同時達成”

- お客様：お客様のコストダウンや利益造出につながる「ならでは製品」を連続創出するために必要な開発費を今まで(売上高の3%弱)以上の+2%を投入確保することにより開発促進を担保する。(お客様への利益の還元)
- 社 員：成果報酬として「3回目の賞与(営業利益80億円以上:1ヵ月/100億円以上:1.5ヵ月/120億円以上:2ヵ月(上限))」
- 株 主：3年平均利益に対する配当性向30%
- 資材取引先：コストダウン成果の50%還元
- 地域社会：営業利益の1%を「ダイヘン小林愛三記念基金」より社会福祉目的(「子供の貧困」に特化)で主要事業所所在地市町村の対策室もしくは共同募金等に在籍社員数按分で寄付

還元

P49

## 業績目標とステークホルダーへの還元目標(2018年度想定)

	2018年度予想
◇売上高	1,570億円
◇営業利益	105億円

- ・ お客様：31億円<開発費率5%(売上高比)>
  - …売上高1,570億円×2%
- ・ 社 員：12億円<3回目の賞与>
  - …営業利益100億円以上:1.5ヵ月分
- ・ 株 主：29億円(16円/株)<3年平均利益に対する配当性向30%>
  - …当期利益67億円×30%÷(1-実効税率30%)
- ・ 資材取引先：5億円<コストダウン成果の50%>
  - …資材取引先との協業によるCD 10億円×50%
- ・ 地域社会：1億円<営業利益の1%>…営業利益105億円×1%

還元

---

## 2018年度（2017年4月～2018年3月） 【業績予想】

### 次期業績予想（全社）

---

（単位：億円）

	2017年度		2018年度		前年度比	
		実績		予想		増減率
売上高		1,494		1,570	+76	+5.1%
営業利益	6.7%	100	6.7%	105	+5	+4.4%
経常利益	6.9%	102	6.7%	105	+3	+2.5%
当期純利益	4.6%	68	4.4%	70	+2	+2.5%

※為替レート想定： 105円/ドル

# 次期業績予想 (セグメント別)

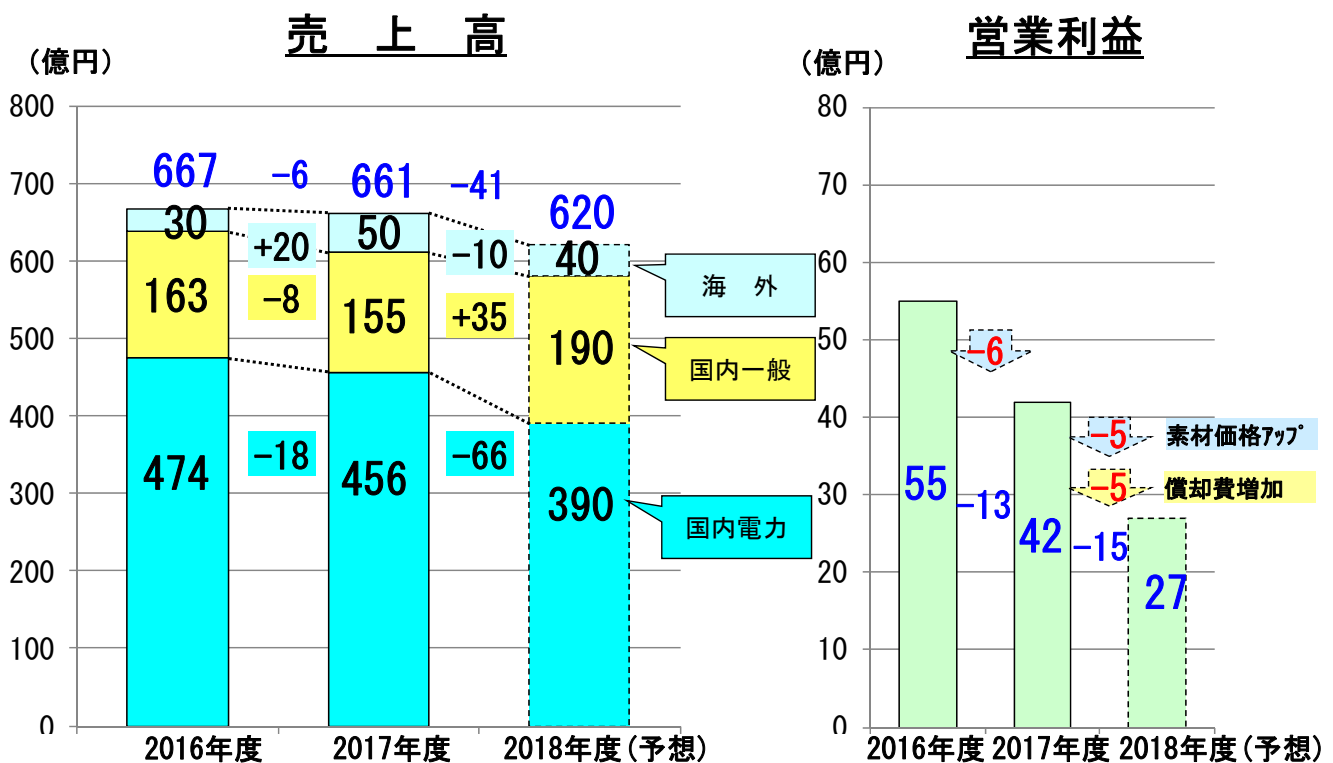
(単位：億円)

		2017年度		2018年度		前年度比	
		実績		予想		増減率	
1 電力機器	売上高		661		620	-41	-6.3%
	営業利益	6.4%	42	4.4%	27	-15	-36.0%
2 溶接 メカトロ	売上高		444		470	+26	+5.8%
	営業利益	7.6%	34	8.5%	40	+6	+19.0%
3 半導体 関連機器	売上高		386		480	+94	+24.1%
	営業利益	16.6%	64	17.3%	83	+19	+29.3%

DAIHEN

P53

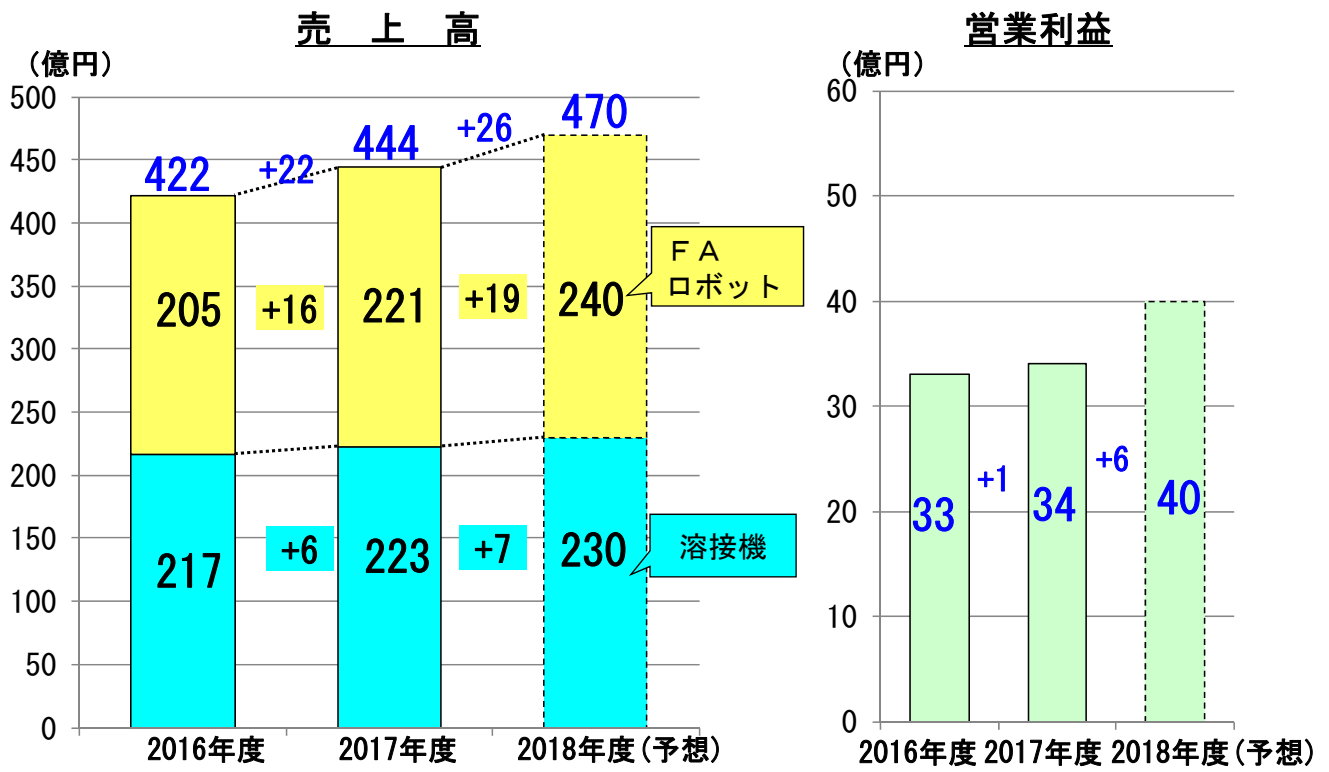
## セグメント情報 1 電力機器



DAIHEN

P54

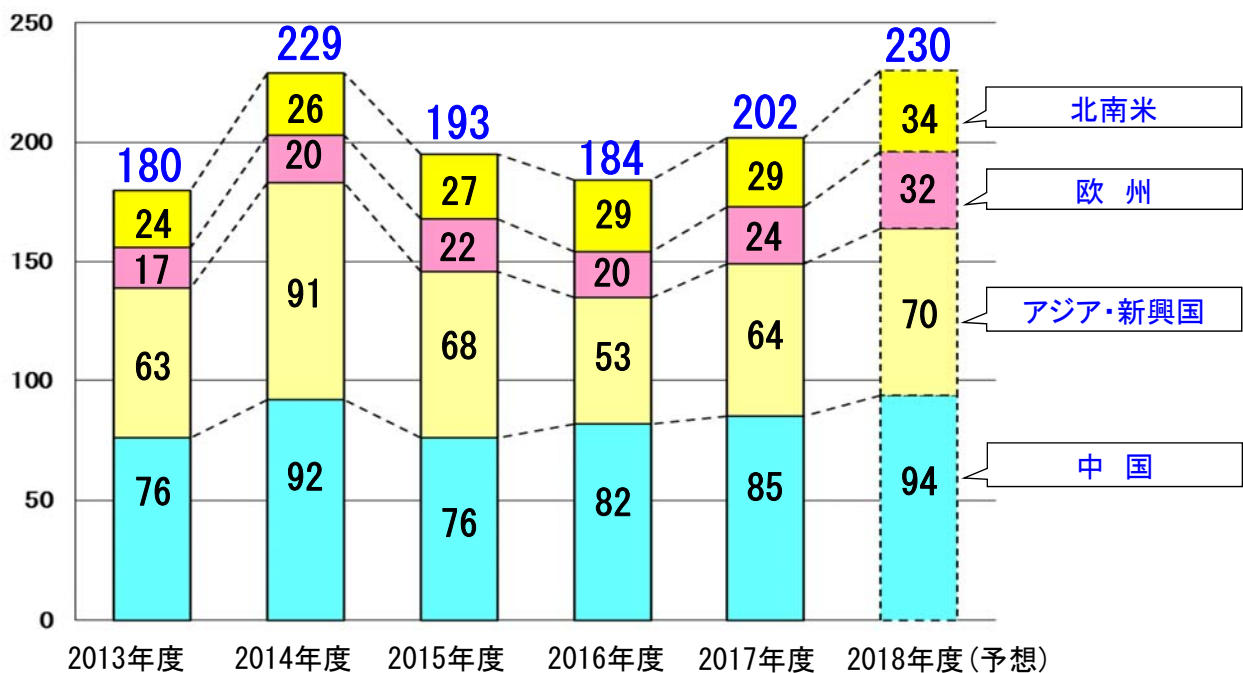
# セグメント情報 2 溶接メカトロ



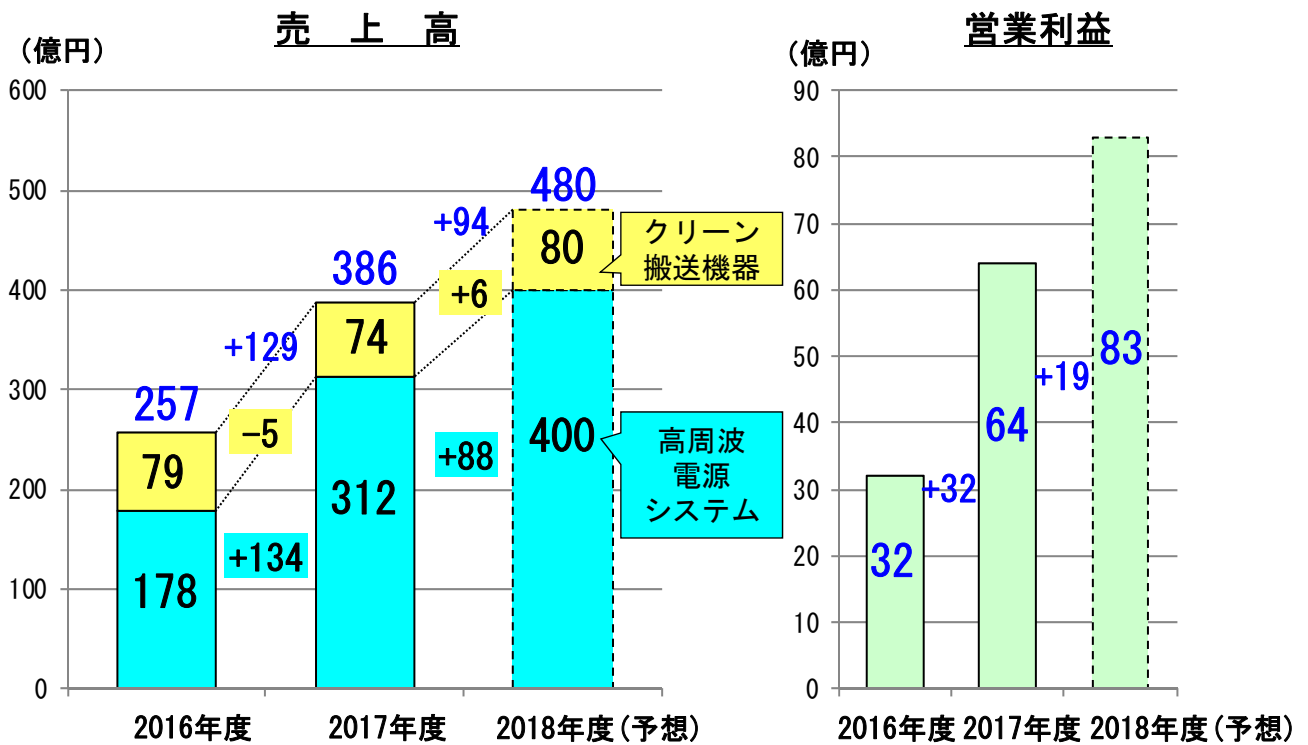
## 2 溶接メカトロ

### 溶接メカトロセグメント海外売上高の推移と予想

(億円)

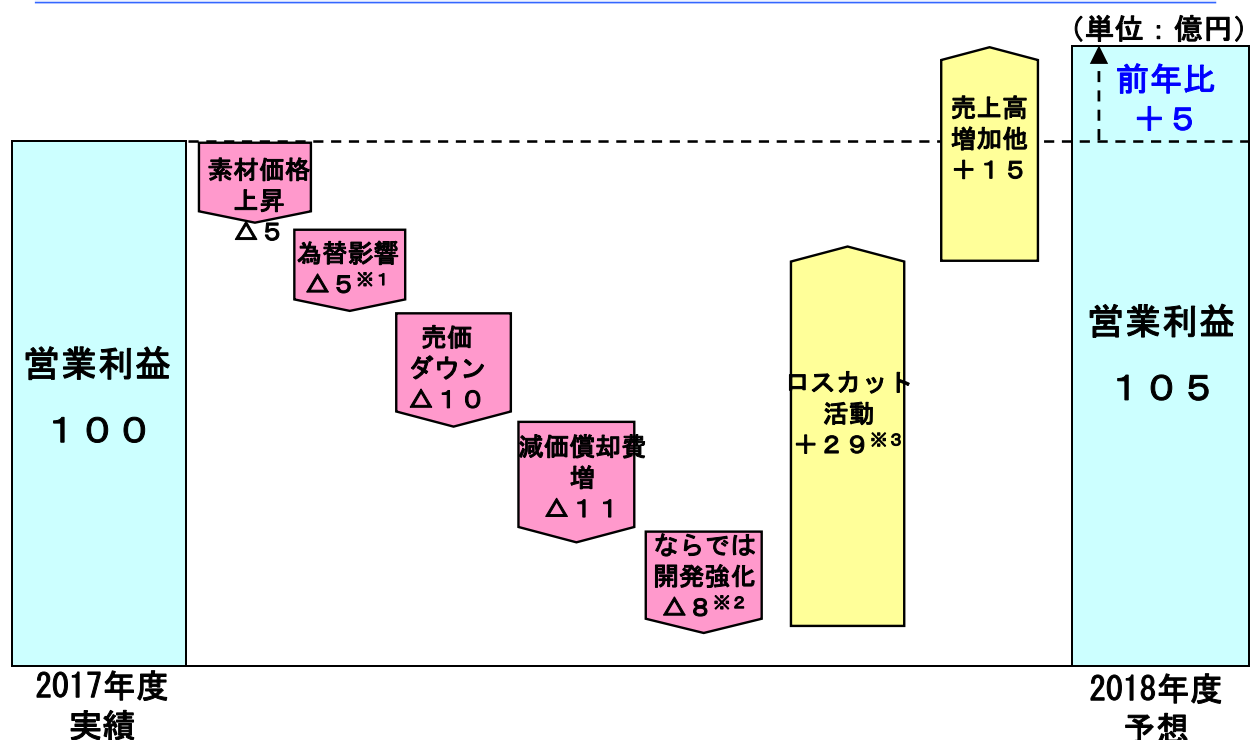


# セグメント情報 3 半導体関連機器



P57

## 2017~2018年度営業利益変動要因



- ※1. 為替影響 : 2017年度平均110円/ドル ⇒ 2018年度 105円/ドル
- ※2. 開発強化(研究開発費増) : 2017年度 57億円 ⇒ 2018年度 65億円
- ※3. ロスカット活動 : 2017年度 127億円 ⇒ 2018年度 156億円

P58

## ダイヘン新本社ビルのご紹介

- ・ 耐震対策の一環として、2018年2月新本社ビルを竣工。
- ・ 地域住民の津波避難ビルとして大阪市に登録。

当本社にて2018年6月27日定時株主総会を開催致します。

### ■ 1階



歴史展示コーナー



新製品ショールーム



新本社ビル外観

地上8階建  
延床面積 約1万1千平方メートル



P59

## 将来予想に関する注意点

- ・ 本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。  
これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。
- ・ なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。
  - 主要市場における経済情勢及び需要・市況の変動
  - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
  - 為替相場の変動
  - 原材料価格の相場変動
  - 競争企業の製品・サービス、価格政策、M&Aなどの事業展開
  - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化



P60